

幼児の教育

第五十二卷 第二號



日本幼稚園協會

2

フレーベル館の28年度保育用品

No. 41 幼児指導要録
B 5判、4頁、 定価 一部 5 円

No. 42 幼児指導要録の趣旨と
その取扱いについて
定価 4 円

No. 45 保育日誌
定価 1 枚 2 円

No. 47 園籍簿
定価 1 枚 2 円

No. 48 身体検査票
定価 1 枚 2 円

No. 50 園のたより
A 6判28頁 定価 15 円

No. 51 つうえんブック
定価 15 円

No. 53 卒園臺帳
B 5判 定価 1 枚 2 円

No. 55 保育料袋
定価 1 枚 2 円

No. 56 保育證書 (A)
No. 57 同 (B)

AはB 4判、BはB 5判
定価 A 7円 B 5円

No. 58 園児募集ポスター (A)

No. 59 同 (B)

No. 60 同 (C)

定価 ABC 各20円

No. 72 出席簿 (縦型)
定価 1 枚 2 円

No. 74 園のたより用ゴム印
欠と休をあらたに入れました。
1組 14ヶ 定価 200円

No. 75 綴込表紙
B 5判 何でも綴り込めます。
定価 50 円

No. 101 出席カード
表紙裏に、身体検査表と月別出欠席表
を入れました。
A 5判13枚(表紙共) 定価 35 円

No. 103 出席カード用貼紙
10人分12ヶ月一箱 定価 200 円

No. 111 むりえ (初級)

No. 112 同 (上級)
B 5判各16枚 定価 各 35 円

No. 118 おさいく帳 (B)

No. 119 同 (A)
鼠紙10枚、黒紙2枚

(B)はB 5判 定価 32 円
(A)はA 4判 定価 40 円

No. 126 自由画帖 (A)

No. 127 同 (B)

No. 128 同 (C)

Cは上質ざら紙30枚
定価 A35円 B30円 C25円

No. 131 折紙 (特製 5 寸) 定価50円

No. 132 同 (// 4 寸) 定価40円

No. 133 同 (並製 5 寸) 定価35円

No. 134 同 (// 4 寸) 定価25円

以上いずれも 1色100枚包の値段です。
色の種類は16色。(並製は15色)

No. 155 まんでんくれよん(12色)
定価 60 円

No. 156 同 (10色) 定価50円

No. 157 同 (8色) 定価40円

No. 158 お道具箱(木製)定価60円

No. 159 同 (紙製)定価35円

No. 160 鋏 (先丸鋏) 定価35円

No. 168 たのしいおしごと(No. 1)

No. 169 同 (No. 2)
定価 各 45 円

No. 171 組別名札 (縦型)

両面色紙ばり、色の種類は赤、黄、緑、
白、桃、藤、水色の7色 定価1個2円

発行所 東京都千代田区神田 株式会社
小川町二丁目五番地

フレーベル館 振替口座東京
一九六四〇番

幼 児 の 教 育

第五十二卷

第二號

昭和二十八年二月

目 次

表 紙	三 岸 節 子
芽を愛する心	倉 橋 惣 三…(2)
(ヌース)ひとりひとりの保育	齋 藤 文 雄…(4)
— 特 集 —	
希 望 と 計 画 (1)	(6)
先生方と童話の話方について語る	櫻 葉 勇…(12)
☆雪国の幼稚園☆	藤 幼 稚 園…(17)
☆雪国の保育所☆	藤 沢 う め…(20)
第一回九系幼稚園連合大会を終りて	高 森 豊…(22)
第二回全国仏教保育大会について	鳥 越 正 道…(24)
(講話) 生理欲望の教育 (2)	加 藤 常 吉…(28)
一 報 告 (3) 一 内 気 な 子 供	谷 口 和 子…(35)
アメリカ童話から (21)	松 原 至 大…(39)
2 月 の 保 育	{ 堀 合 文 子…(42)
	{ 鈴 木 と く…(47)
折にふれて	(52)

編集主幹 倉橋惣三

協力委員 牛島義友 及川ふみ 齋藤文雄

多田鉄雄 波多野完治 山下俊郎

編集委員 西山浪太郎 (五十音順)

発 行

日 本 幼 稚 園 協 會



芽を愛する心

倉 橋 惣 三

春信既に頻りになつて、花を訪わないものはない。春の聲音離外に近づいて、出で、迎えないものはない。待ちかねて春にゆき遇うて芽を愛するものこそ、初めて真に春を愛するものといえよう。

嫩芽は謙黙して自らを顯わさない。茂りの下に匿れ、土に埋もれて自らをも知らない。紅唇微かに綻び、膚の色滑かなるに到つても、少しも己れを誇示しない。たゞ淡、たゞ素、敢て人の目を惹かない、たゞ純、たゞ鮮、未だ春塵のよごれを知らない、可憐ながらに崇美の春の子である。

しかも、この春の子の、自然の小さい子として、内に蔵する生長の力は崇美というよりも壮美といふべきである。享樂とか耽美とか、春に酔うものゝ常套の言葉であるけれども、この小さい春の子に対しては、驚悸と驚駭との外はない。春に驚くという言葉のみが、この小さい春の子の驚くべく偉大な力への言葉にあたる。

幼児を連れて、早春の野に出よう。そこには、まだ、むこりから招くに値する花の色もない。きのうからきようへ、きようからあすへの、生長の芽があるだけである。うつかりして踏みつけてはならぬ。心なく摘みとつてはならぬ。先づ細心に護らなければならぬ子らである。そのうえ、花としては知らぬものもない名を、未だは多くもつていないが、またその生長の力も一日二日にしてはあらわれないが、いつのまにか変化し生長して、その移行と展廻をさえ進るに苦しませるが、この一つ／＼の小さきものには微細の探求によつて、各々の個性が発見せられる。小さいけれども皆それ／＼の特色に生きていることに驚かされるのである。

芽を愛するは花を賞せんがためだといふは否むべきことではない。しかし、芽を愛するは花の約束によるのみであるるか、真に芽を愛する心はこの小さなものに見られる今日の春を愛するのである。或は大輪の花の形も期待せられる。艶美

の花の色をも、期待せられる。けれども、それは、明日の希望である。今こゝに見る小さい芽には、その小さいものながらの愛らしさがあり、貴さがあり、生命の驚異、拜みたまささもあるのである。この心をもたないものは芽を撰ぶことを知つて、芽を愛することを知らないであらう。芽を価値づけることを思うて、芽を愛することを思わないであらう。芽を愛するものは、芽を育てずにはいないであらうけれども、そうはいわれるものゝ、必ずしも、育てるためにのみ愛するのでない。野に出でて小さい芽に遇うものゝ心は、先づ彼等の今を愛せずにはいられないのである。

愛するものにとりて、その親しさは訪わぬ日にいやまざる。林は広く、同じような木立の路に迷う。殊に浅春の林はまだ枯木立である。木がらしに梢の葉も落ちて、どれも同じ淋しい姿である。それを己の姿と見くらべながら筈を曳きながら、あの小さい芽はどこだつたかとたづねあてるのも、此頃の感興である。そこは低い灌木叢に固まれた枯芝の日だまりになつてゐる。どこかで親しげによぶ声がする。あたりを見まわすと、見ちがえるように大きくなつた、あの芽である。おゝこゝにかと近づけば、右にも左にも同じような芽がむらがつて来て、そここゝから声をかける。馳け寄つて来る可愛いいけはいさえる。叢の外の風を過ぎつて、ぽかぽかするその日だまりは心の奥まで温かにぬくめられる心地が

する。必ずしも、きよりはもう花になつてゐるかしらは思わないし、芽の無邪氣のまゝをなつかしく思つたりするのである。

越えてその翌日は雨になつた。あの野中の日だまりを思い出し、あの芽達はどうしているだろうかと、思いやりもする。春雨とよぶには、まだ雨足が強い。風さえ吹き出して、あの灌木叢も荒れていることだろうとも思われる。しかし、花ぞつたら散るかと思はれる心配は起らない。この雨、この風にきたえられながらにきよりもあの小さい日だまりに、安らかに護られているだろう芽の幸福を思つて、と安心する。そうして、芽は芽としての幸を充分楽しんでくれと心から祈りもするのである。

× × × × × × ×



ひとりひとりの保育

齋藤文雄

最近、世間の母親達の間における育児関係の智識の発達は、これに関する諸施設の増加、新聞、雑誌、出版、ラジオ等の普及を媒介としてひと頃とは比べものにならない積極的の進歩を示してゐる。その結果、乳幼児の育て方も上手になり、無知が原因で子供をスポイルするといふような事は大変少くなつた。これは一応誠に慶賀すべきことゝいふに躊躇しないがその反面、何事もすぎたのは及ばざるに如かざるの譬えでこゝ一年半程の間であるが、こういう智識の急速な普及に対する一種の反動が出て来てゐるようである。

大体、施設する指導は——出版物やラジオでするも

のも同様であるが——一応の基準を示すだけのものである。極めて大まかに、個人差というものを抽象して標準的な場合に就いて語るにすぎない。どこまでも基準であるから幸いに問題の乳幼児が標準の場合に該当しておればよいが、具体的には乳幼児のおかれてゐる状態を規制している色々な条件で千差万別であるから、必ずしも施設の指導がそのまゝ当てはまるとは限らない。これはひとり育児の問題に限らず、世上万般のこと凡て然りである。

ところが一般の母親はそうは考えない。日光浴にしろ、睡眠時間にしろ、栄養関係の事柄にしろ、何でも教わつた通りに、あるいは本に書いてあるとおりにしないと気がすまない。具体的な場合といふものを考えないで、一律に原則論的知識でやつてみるという傾向が強い。結果として、そのはねつ返りが何も知らない乳幼児にかゝつてくることになる。本来が、乳幼児を本當にしあわせにするための、育児知識の普及であるべきはずであり、勉強でなければならぬわけである。それが

なまじ知識を有つてゐるために、子供が不幸になるといふようなことがあつたら、それは大いに考えなくてはならぬ事だと思ふ。

例えば子供に何か好ましくない癖があるとす。そういう癖を直すにはどうすればよいかという一応の基準的知識が頭にある母親は、勿論その通りやつてみるが、それで教わつた通りうまい結果が出ないという事になると、母親はあわてゝあせり出す。これは子供に対する影響も決してよくない。

拘子定規に物を考えないことが必要である。柔軟な弾力性を十二分に有つた考え方をしなければいけない。このことは特に相手が乳幼児という非常にデリケートな存在であるだけに、柔軟性弾力性ということに就いては何程戒慎しても戒慎しすぎることではない。

千差万別といわれるが、乳幼児位千差万別なものはない。子供の家族関係、経済関係、環境の變化、その他色々な条件で非常に個人差がつよい。これに対する最も適

切な育児法は一方的なせまい見地に立つては到底把握出来ないのもつと視野のひろい全体的見地から把握するの でなければ不可能である。

尤もこれは、世間の母親というものが、育児について本当に勉強するのは家庭に入つて自分で子供を有つてからで、その前には学校でも育児法を勉強する機会などあまりないといつてよい。だからいきおい、何か權威に頼つてそれで安心したいという氣持になる事は充分理解出来るけれども、そういうものだということが解つただけで問題が解決するわけではない。

こどものあるべき環境を充分に弁えて、その上で理論がどう生かされなければならぬかが決るべきで、真向から理論をふりかざしてこどもにのぞむ場合いろいろな困難に遭遇する。その抵抗を敢えておし通すと子供は効果からいつて逆の方向に向うことが屢々である。焦ることなくこどもの環境に応じたわが家の保育が考えられてほしい。



希

望

と

計

畫

—(1)—

貴園の将来の御希望と、今年の御計画とをお漏らし願いますといふ本誌からの懇願に対し、お忙しいところ、多くの方々御回答を下され有様うございました。今月号に掲載出来ませんでした分は次号に掲載させていただきます。此点、御諒承願います。
(編集部)

御回答をお願いした問題

- 一、我国保育界全体として、又あなたの幼稚園として、希望されている、将来の理想(その方向、事項、夢)
 - 二、今年度新に着手しようとし、或は前からの帰結として、今実際に計画されていること(具体的に大小いくつでもお挙げ下さい)
- (掲載は御回答順に致しました)

☆ 東京都台東区立清島幼稚園長

☆ 松 石 治 子 ☆

一、東京都公立幼稚園は大部分小学校に併設されて居ります。併設幼稚園は小学校教育との連関上大変良い点もありますが、運営上困難な点も多いのであります。

園舎は大休小学校の教室を利用して居りますから、幼児教育施設として適さない許りなく、訓育の上からも相当に困ることがあるのです。遊園は多く小学校と共同であります

から、これも亦幼児にに適さぬ場合が多いのです。そこで併設幼稚園は必ず将来に於て小学校の隣接地へ独立園舎を持たなければいけない、遊園は必ず幼稚園の教育環境として設定されたものを持つて居なければならぬと思ひます。そのためには園長は小学校の校長と兼任であつては仕事が多すぎます。必ず専任の園長が一意専心その希望に向つて努力しなければいけないと思ひます。

そこでその設置費はどうするか、これが最も大きな問題であります。国庫に於て設置費の援助をし、区費より幾何かの費用を捻出して貰い、その不足額はP.T.Aより支弁する。

しかしP.T.Aからは一時に多くをのぞめませんから、年々歳々卒業生の出る毎に僅かでも積立金をし、五年十年の短日月で実現されることを望まず、百年後の大計を立て、行くことが幼児教育への精進の途であると思いません。

二、私の幼稚園は昨年度から教育庁の実験幼稚園の指定を受け、種々の問題を取扱つて参りましたが、今年度の研究題目を簡単に記してみました。以下列挙いたしますが、その内の大半は既に研究発表をいたし非常に面白い結果を納めて居ります。

一、健康教育の実際

- イ、健康教育に関する基本的調査
- ロ、幼児の健康生活のプログラムの研究

二、両親の教育

- イ、幼稚園と家庭との連絡方法
- ロ、母親学校の開設
- ハ、父親会の開設

ニ、母子の日の実施

ホ、慰安の方法研究

三、小学校教育との関連

一、交換參觀

二、連絡協議会

三、幼稚園カリキュラムの研究

☆ 東京都文京区立第一幼稚園長

山 村 き よ

☆ ☆

一、我国保育界全体として

ながく保育の仕事に携つているもの一人

として最近ことに嬉しく思うことは昔からとかく「ままこあつかい」されて来た幼稚園がようやく教育の一貫性をもつ仕事のなかでも

最も重要な位置にあるということを認識されて教育関係のことには一応すべてに仲間入りすることが出来るようになって、今こそ「幼児教育者である」という肩がきをもつていことに誇りを感じる時の多いことである。

新聞、ラジオ等にも幼稚園のことが問題にされ、又地域社会の要望も真に幼児教育の必要性から幼稚園の増設を希望して来ている現在だけに、今こそ我々幼稚園関係者が公立、私立、の別なく、それぞれの幼稚園に於て教育の実績をあげて地域社会の要望にもこたえ又一人一人の幼児にそれぞれの「幸福」をあたえることこそ大きな責任だと思ふ。

その為には今ままであまり見かけなかつた「日本の幼児の実態」「日本の幼児教育白書」とでもいふようなものを「日本の幼児教育者」の手によつて作らなければならぬと思ふ。外国の文献にのみたよつていないで、現在までに各地各ブロックで盛んに行われた研究発表会の記録、その他の資料がもつともつと有意義に活用されたならどんなにすばらしいことであろうか？ こんな「夢」をもつて居られる方もすいぶん多いのではないだろうか？

二、当園今年度の計画の一つとして

1、運営に關すること

○昨年度は八組八名の教諭に編成され担任外の教諭一名が一般事務にあつていたのを本年度は七組編成にし一教諭はメンタルテスト、ケースワークその他の科学的な調査研究に専念する(特別な指導者について)

○各組担任教諭はそれぞれ希望する研究テーマをもつて継続的な研究をする。(昨年度よりのつぎ)

2、保育内容について

○昨年度の幼児実態調査にもとづいてカリキュラムの検討をし独立園舎をもつ幼稚園としていろいろの不備をおぎなうよう

にカリキュラムを改善する。
両親教育

昨年度まではP.T.A.会員相互の親睦をはかることに重点がおかれてあつたのを本年度からは幼児入園と同時にP.T.A.スクールに入学するような組織をつくり積極的に幼児教育に關する諸問題その他計画的な指導をする。この計画は園長が主になり、P.T.A.会長は会員相互の親睦をはかるためにリクレーションその他を計画する。

4、施設の改善

○各保育室に家庭用受信機の設備をする。(従来までは拡声機により各保育室に流されていたが雑音のため興味が中断されるので)

一、我国保育界全体として又あな たの幼稚園として希望される 将来の理想

☆ ☆ 長崎市立長崎幼稚園長
☆ ☆ 山口菊代

A 児童遊園地

二十幾年前私が女師附属幼稚園に勤務の頃
當時の女子師範の校長先生が県保育会で講演

されたお話の一部に「公園等に遊んでいる子供達の所へ幼稚園の先生が当番制で時々行つてお相手して上げたらどんなによいだろう」と云われたことが強い印象となつて残りそれが私の夢として今日まで續いてきた。近頃になつて何か早くそんなことが実現しないものかと気があせつてきた、否実現しそうに思われる。

今日都市計画等で市内にも二十幾カ所の児童を中心とした遊園地が出来ている。プランコ、シーソー、お砂場滑台等が設備された。樹木も少しづつ植えられた。これだけでもお子様方にはうれいことだ。この児童遊園地が町内の社会教育家又は地区P.T.A.の親切で一時的でなくせつせと小さく長くかゝつて結構として緑化されたお掃除の行届いた児童遊園地に發展するようにと祈つている。施設としては水道と便所を必ず造り可愛い、あづま屋程度の憩いの家が一二あつてほしい。町内の諸々の職業をもたれたかくれた社会教育家が暇々に来て子供達と遊んで下さる。専門家の幼稚園や保育所の先生方が当番制で時々やつてくる。町内の親しみ深い母様や兄様が時折のぞく。社会教育課や社会課の方々が紙芝

居や絵本をもつて来る。何かこゝに温かい発
展性があるようだ。子供を通して町内のうれ
しい集いの場所となりそうだ。これは遊園地
だけでなく町、村の子供の遊ぶ原つばに空地
にこの姿が展開すれば……日本中の子供達の
世界が明るく幸福になるように思われる。

B 幼稚園の一日先生

御自分のお子さんはよく見える。誰より一
等可愛い。大事に育てる。これは人として
当然のことである。他人様のお子さんにもこ
うした気持ちと実際が起らないものか。幼稚
園の参観ではなかくむつかしい。お母様の
立場を離れて幼稚園の先生の位置に立つて
(先生の助手となつて)子供にふれて頂けな
いものかしら。

子供を登園から迎えて一日中受持先生の助
手としてお相手しお帰りを見送つて保育の結
果を先生と共に整理反省し翌日の計画準備を
してお帰り頂く。幼稚園の先生とお母様の親
しみは濃くなり先生にも大きな参考資料が得
られるしお母様は幼稚園教育を理解し御自分
のお子の長所短所を正しく見ることが出来、
他人様のお子さんがきれいに尊く見える。これは
現在私の園で時折やつている。継続して実行

したらきつと幼稚園教育にプラスするものと
思われる。

二、今年度新に着手しようとし或

は前からの帰結として今實際
に計画されていること

A 原爆以来お寺の隅に仮住居の現園舎か
ら新築園舎に移転して普通幼稚園形態を整え
る。

一室から五室になる組の整備

施設設備の調整

記念諸行事

B 幼児が正しく豊かにお話をするような言
語指導の手段としての遊具(お話遊び板)

の研究を進める

C 指導要録の各要項について家庭の見方と
幼稚園の見方を比較研究して正しい指導に努
める

D 父母への報告書の内容形式を現在使用の
ものについて反省検討し幼稚園教育の正しい
認識をさせる。

E 保育資料集の製作をする(新聞紙上の幼
児教育の問題の切抜集めや各地の絵葉書でス
クラクブックを作る)

F 歯科治療の必要児を週二回幼稚園で校医
の出勤日に治療する(新園舎に移転しなけれ
ば実際には実施出来ない)

☆ ☆ 福島県若松市学校法人若松幼稚園長 ☆ ☆
玉川喜代子 ☆ ☆

一、理想

A 方向

(i) 文部省厚生省など末端まで来るとまこと
に喧ましいので、文化省でも作つて頂い

て一元化する。然して、広島昭和田園の
ように、保育所から幼稚園に一定時間の
教育を受けて又保育所に帰つて給食入浴
等々のお世話を頂いて保護者の迎えをう
ける仕組みはいかゞ。

(四) 保育内容の水準が非常にまち／＼故、そのレベルを引きあげるような指導機関が欲しい。

B 事項

設置基準が次官通牒で出たけれど、少しも早く、設備の改善と環境の整理につとめたい。

C 夢

今私は、理想の幼稚園を夢に画いて楽しんでる。先づ斜面のある芝生と砂地によつて小川をかこい、すい／＼とした立木にリスが来てとまり(成田幼稚園のように)花壇があり、小動物園がある、園舎は南向き遊戯室の観覧席から二台が左右に曲つたり波をうつたりして遊戯室に下りて来る(名古屋第三幼のように)入口は遊戯室に二つとりつけて一間半の遊戯室と同方向の一間半巾のコンクリートがあつて、そこに低い下駄箱と踏み板は三尺巾が続きます。雨の日は保護者が来ましてそこで子供の遊びを見ながら待つている仕組(広島中央幼のような)一部屋づつ手洗場がある(お茶の水女子大幼のように)畳のお部屋も一つ入用、先生

はにこやかでスマートな先生が二十人に一人の割で、各々一芸に格段の技をもつている。

二、今年度の計画の一部

A 本年度は創立六十周年を迎えたので、その計画として

- 1、創立者の娘前園主を山口県萩市よりお迎えする。
- 2、式典
- 3、全国児童画展覧会の開催。出品の絵はエスベラント各国に贈つて交換する。
- 4、記念事業として第一幼はピアノ購入、土地購入、第二幼は植樹その他第三幼で

は園舎増築

5、玩具まつり、三日間、尚第一幼、第二幼第三幼、この計画につき各位の御声援物凄く、全国各地より貴重な園児の作品をく／＼として御送り下され、又同窓者は六十才以上の方々まで皆立ち上つて下され既に河合のグラントピアノ到着、外に玩具まつりは全国児の演出と模擬店又抱え切れないお土産等、PTA同窓会幼稚園打つて一丸となつて催す事です。

B 又二月は十日市ごっこ。これは凡て子供が売屋さん交通整理お給仕までして、甘酒の接待から紙のお金を保護者において買つて頂く仕組。

☆ 大阪市立愛珠幼稚園長

☆ 中 村 道 子 ☆

一、感覚器の発育が最も旺盛で、運動神経の訓練も、期待効果が最も大きいと云う時期の幼児をあつかる幼稚園では、幼児一人々々の生涯を通じて、再び得られぬ此の時期を、有効に過ぎて、好ましい人生の営みをするよ

うに、根本になるものを、培つてやつておきたいと思う。幼稚園法に示された五つの目標を中心として、深い思想の上に、しかも巧まぬ姿にて、特に諸感覚の訓練には、系統的に充実を計つて、怠らず実施してゆきたいと思

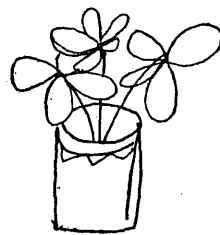
つている。これ等は、結局保育者の高い教養と、たゆまぬ研究に加えて、まめやかな勤勞によつて、解決されるものであるから、今後益々、職員の保健を計りつゝ、現職教育を怠らず、視察や見学にあらゆる機会を利用して視野を広め、経験を豊富に持ちたいと思う。

そして日本の幼児が、大切な此の時期を有効に生活するために、幼稚園教育が、義務教育となれば良いと願つている。従つて公私立幼稚園がどん／＼増設せられ、文部省は私立幼稚園に義務制を依託し、今の六・三制を一年引下げて、三四三三制に布かれ、ば、子供等の将来は幸な事だろうと、夢の実現を祈つている。

二、愛珠幼稚園は、明治十三年に創設されたので、明治初年の保育関係書類や、当時の状況を物語る資料があるから、その修理と保存法に關し、四年前から手入れにかゝつてゐるが、毎日の雑事に追われて、はかどらなかつた。

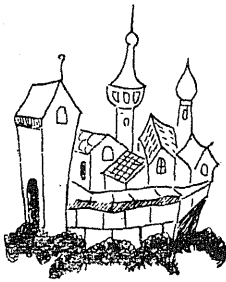
しかし、今年度に入つて、漸く園舎の修理が八分通り出来たから、残りの仕上げと併行して、本格的に資料の整理に専念し、二十八年度には、仕上げてしまいたいと計画して居

る。何しろ寺院のような感じの園舎であるから、修理だけでも百五十万円を要し、此の費用の調達からしなければならぬので、大仕事であるが、これが出来れば、明治初年の保育の歩みを見る事が出来るから日々を慎重な気持ちで精進している。私はこの修理に當り園舎の持味を失わぬように、全々感じの反対な、現代的な工作室を作つた。これは此の室に優秀な絵画と彫刻を陳列して、良い物にふれさせて置きたいとの計画からである。視聽の訓練や、工作による腕や指の運動神経はもとより、音楽リズムによる全身の運動神経訓練には、幼児が白紙であるから、あやまつた先入感のつくことを恐れて、教育的専門家に依頼し、保育者も幼児と共に指導を受けているが、此の効果は非常に大きくて、幼児の發表力も身について確かであるから、今後或程度迄強化してゆきたいと思つてゐる。又簡単な英語の会話や唱歌の練習も、二年前から始めたが、幼児は何の苦勞もなく、遊び乍ら覚えていつて、保育終了後も練習を希望する者がある。私は今後猶これを續けて、その効果と弊害の有無を調査する考である。



正 誤

五十二卷一月号「問いに答えて」の長沼依山氏の二の(四)訓練上について(16頁)上段四行目、六行目、九行目中の「指導要領」は「指導要録」の誤植でありますので、訂正します。



先生方と 童話の話方について語る

檉 葉 勇

☆三要件の調和☆

A、子供たちに童話を話して上げたいと思いますが、どうしたらうまく話せるか、一つその秘訣を教えてくださいませんか。

B、ずいぶん虫のよい御註文ですね。併しそんな手品の種みたいな秘訣なんてありませんよ。まあ、せいぜい回を重ねることですね。ところでもう何回かお話をなさいましたか。

A、いえ、紙芝居なら殆ど毎日やつています

B、そうですね、どこの幼稚園、保育所にも紙芝居の備えていない所はないでしょうし、紙芝居をしない先生もいないでしょう。というのには、紙芝居が、いつ、どこで誰でもという三条件が揃っているからです。ところがお話の方は、紙芝居以上に、いつでも、どこでも、誰でもやれる筈なのです。たゞ紙芝居のように、かげにかくれてやれないところから、誰でもというところまでに至らないのは残念なことですが、真に子供を愛する人ならば、きつと紙芝居同様にやれるにちがいありません。その上紙芝居や人形劇を一團生かす為にも、お話がよく出来るのが大切です。

A、それではこれから大いにやりましょう。私たちが今後お話をやつて行く上に、心得なければならぬ点はありますでしょうか。

B、それはあります。一話というのには童話に限らず総て三つの要件から成立つています

A、三つの要件と申しますと

B、わかりきつたことですが、話者と対象と話材、この三つです。話者つまり話し手が対象つまり聴き手に、ある話材を伝える作業が話ですから、よい話とか上手な話というのはべらべら達者にしやべることではなくて、この三つの要件がよく調和されるということですよ、例えば湯川博士が原子力について講演される。もしその対象が幼稚園児であつたとしたら、どんな名講演も完全に失敗です。

☆「とき」と「ところ」☆

A、そうすると、私どもの話者対象は幼児ですから、いつも話材や話し方が幼児と調和されるように注意するのですね。

B、そうです、お話の対象となる幼児を知る事、これが第一番に大切な事です、あなた方は毎日幼児と共に暮しておられるのですから、この点大丈夫でしょうが、ところでお話を

する場合に、今の三要件に大きな影響を及ぼすもう二つの要件を考慮したいと思ひます。

A、それはどんなことですか、

B、「とき」と「ところ」です。「とき」を広義に解するとその時代、狹義に解すると、お話をする時が午前か午後か晴の日か雨天かというような事になります。「ところの」方も広義では環境、つまり同じ年令の子供でも都会と農村によつて違つて来る。狹義ではお話をする会場、保育室であるか遊戯室であるか或は野外であるかというような事が、お話の上にならぬ影嚮を与えます。ですからお話は結局話者と対象と話材、それに「とき」と「ところ」この五つの調和を常に考える事が、まあ秘訣といへば秘訣でしょう。

☆童話の興味性

A、なるほど、少し分りかけましたが、私どもが子供にお話する場合、先ず最初にしなければならぬ仕事は何でしょうか。

B、それは何よりもよい話材を用意する事でしょう。「とき」や「ところ」も考慮に入れて、対象たる幼児の為に、最も適切なよい話を選択することが、最も肝要な事です。

A、ではその選択の標準をどんなところにしたいらよいでしょうか。

B 私には優れた童話は、興味性と教育性の二つを具備すべきだと思います。興味性というのは面白いということ、どんなよい内容があつても面白くなくては幼児に与える話としては不適當です。しかし面白くというだけでなく一方教育的であることが望ましい但しこゝに教育性といつたのは、狭い道徳的な教訓という意味ではありませんが、A、では興味性、面白い話というのは、どんな童話でしょう。

B、そうですね、面白いという要素はいろいろありましようが、幼児の童話としては、
単純性 変化性 反復性 韻律性
親密性

などを挙げる事が出来ましよう。
単純性 というのは文字の通り複雑でない話の中に出て来る人物(動物でも植物でも)が少くその性格がはつきりしていて、事件のこみ入つていない話こそは幼児の心理から当然のことです。併し単純は単調とは違います。やはり変化を求めます。
変化性 というのは 活動性といつてもよい

でしょう。変化を喜び活動を喜ぶ幼児は、お話がいつまでも同じところにとつとしてゐるに堪えられません。漫画や紙芝居が歓迎されるのは、いろいろな理由がありましようが、速かな変化ということも一つの原因です。ところで単純であつても変化というのはいふふん無理なようですが、次の反復性によつてその道があるわけです。

反復性 はいうまでもなく、くりかえしこれには同一の反復もあるし、類似の反復もあります。桃太郎の童話では、犬猿雉子と全く同一の事件が反復されます。三四の小豚の童話では、類似の事件の反復です。この反復によつて単純の中に変化が得られるわけですが、このため子供の想像力が活潑に働き、そこから無限の喜びが湧き出ます。例えばあなた方が桃太郎の童話を話し聴かせるおとしまししよう。「桃太郎さんがきびだんごを腰につけて鬼征伐に出かけると途中で犬に出会いました、犬にきびだんごをやると、犬がお供について行きました。又少し行くと猿に出会いました。」といふところまで話したとき、子供はきつとお猿もきびだんごをもらつてお供について行くだ

ろうと先の方まで想像します。やがて自分の想像が適中して行くところに、何ともいえないうれしさがこみ上げて来るのです。

韻律性 これは幼児が韻律期といわれる位でリズムを喜ぶ事です。「おじいさんが山へ柴刈に行きました」という説明文では満足しないで「どっこいしょ、やっこらせ、おじいさんが柴刈に行きました」とした方が興味を加えます。ワンワンとかシッポッポとか擬声を喜ぶのも同じ事です。こんな擬声が使われる場合成可く、擬声を先に出した方が効果的です。即ち「向うから犬がワンワンないて来ました」ではなく、「ワンワンワン向うから犬がないて来ました」です。

親密性 子供特に幼児は自己本位自己中心です。童話の中に出て来る人物や事件が子供に親しみのあることが望ましいのです。外国の童話で、例えばらくだという動物が出て来るが、子供は全然らくだを知らない場合、らくだの子供に親しい馬か牛に代えた方がよいでしょう。但しらくだのこぶがその童話の中心となつている場合は別です。

☆童話の教育性☆

A、興味性ということは、よくわかりました。一方の教育性についておきかせ下さい。

B、これもいろいろありましようが、

明朗性 **積極性**

の二つを挙げて置きましょう。

明朗性 というのは、明るい童話、暗い童話の反対です。つまりあまり悲しい話怖い話陰惨な話は避けたいと思います。

積極性 はこれと似たようなことですが、何か悪い事をして後で罰を受けたとか後悔したとかというような消極的な話でなくて積極的によいことをするというような話があると思います。例えば仲の悪い兄弟があつて、毎日喧嘩ばかりしておかあさんを困らせていたが、何かの動機で仲よくなつたというような話をします。我々成人や大きい子供には「兄弟仲よくせよ」という教訓がよく理解されますが、幼児はこの話のどこよりも、兄弟の喧嘩するところが一番面白く、さつそく真似をしたくなります。幼児はまだ話を総合的に全体を把握出来ないで部分的な興味に過ぎず、その興味あり最も刺激を受けた点に模倣本能が動いて全く予期に反する結果を招く事があります。

☆話材はどこに☆

A、承つて見ると、なかなかむつかしくて、うっかり話せませんね。

B、いや、そんなにむつかしく考えては困りますよ。まああまり道徳とか教訓とかにしばられないで、やさしい面白い話という位の気持で結構です。

A、でも私たちは、自分で創作出来ませんし、そんなよいお話の本がありませんから、

B、それはありますよ。これまで幼児のための童話集がたくさん出ていますから、その中で選ばれるとよいでしょう。尤も一冊の本の中の童話全部が、あなた方に役立つかどうかはわかりませんがね。幼児童話集という名はなくても、一般の童話集その他子供の読物新聞雑誌にだつて話材のところがついています。それに今創作は出来ないといわれたが、幼児の生活を見つめてごらん下さい、そこからいくらでも新しいお話が生れて来ますよ。体験見聞からも童話が創作されるし、話材に困ることがありませんよ。そうそう私の例を一つお話しましょうか。

私が寒い朝ふと道ばたの水たまりに薄い氷

の張つてゐるのを見ましたが、お屋頂またそこを通ると、もう氷が解けていました、この小さい事案から生れた童話のほん筋だけです。がこういうのです。

小さい水たまりの中に一匹めだかがすんでいた。この水たまりはめだかのおうちである。そばを通る子供も犬もみんな小さな汚いおうちだと悪口をいうので、めだかは悲しかった。ところがある朝目をさまして見ると、いつのまにか銀色の屋根が出来ている。やがてお日さまに照らされてこの屋根がキラキラ輝いた。めだかは喜んで屋根を見上げていたがどうしたのか屋根に小さい孔があった。その孔がだんだん大きくなりとうとう屋根がなくなつた。めだかはぎつといても通る子供たちが石を投げて屋根をこわしたのだと思つていた。一体めだかのおうちの銀色の屋根は、どうして出来たのだろう、そしてだれがこわしたのだろう。

☆よ い 言 葉

しつかり勉強しましょう。さていよいよお話をするとということになると、その言葉についてどんな注意をしたらよいでしょう。

B、もうあまり時間がありませんから簡単に申しますが、すべて言葉には二つの役目があります。一つは相手に解らせるということ、もう一つは興味を起させる、或はよい感じを起させるということです。「おいこら金を貸せ」という言葉は、解らせるという点では目的を達していますが、おそらく相手によい感じを抱かせることは出来ないでしょう。
A、解らせるためには、やさしい言葉を使えばよろしいのでしようね。
B、そうですね、適当な声の大きさで、はつきり発音し、やさしい言葉で、あまり速くもなくおそくもなく、ときどき間(ポーズ)をおいて話すことが必要です。腹痛する、腹が痛い、お腹(おなか)が痛い、おボンボンが痛い、いろいろのいい方がありますよ、この中で相手に最も適した一つの言葉を選んでください。
A、そうすると自然、相手によい感じを抱かせることになりませぬ。
B、その通りですが、一步進めて上品な美し

い言葉も考えたいと思います。というところが敬語が思い浮べられますが、幼稚園や保育所の先生方の中には、いささか敬語乱用の傾向があります。御本、お机、おべんとうはよいとしても、お新聞、おオルガンはどうでしょう。
A、まあひどい、そんなこと申しませぬわ。
B、いや、とさどき耳にしますよ。一体上品とか美しい言葉というのは、単語としてその言葉だけ取り出しては決められないのです。

例えば「おくさま」という言葉はおかみさんという言葉より上品であるといつても「向うから魚屋のおくさまがいらつしやいました」というより「向うから魚屋さんのおかみさんがやつて来ました」といつた方が却て、美しくびく場合がありますから、いつもその言葉の使われる場を考えなければなりません。それからもう一つ考えていたいただきたいのは、すべてに御の字をつけるため、幼児の言葉を豊富にする妨げとなつてゐることです。
A、それはどういふことですか。
B、幼児の語彙は、その半数以上が名詞であるといわれています。おとの半数足らずが動詞、形容詞、副詞等すべての品詞の合計です

そこで名詞も勿論大切ですが、名詞以外の言葉を出来るだけ教えたいと思います。ところが御をつけるため、すべて名詞の形にしています。「画をかく」といわないで「お画かきする」といい、「かえりなさい」でなく「おかえりなさい」です。ですから言葉を丁寧にすることは結構ですが、あまり御を乱用しないようにしていただきたい、おや、とんだお説教になりましたね、言葉については問題がたくさんありますが、次の機会にゆずりましょう。

☆☆ゼスチュアはむづかしいか☆

A、言葉もなかなか面倒なものです、私ものもつと困るのは、ゼスチュアです。先生方のように表情や身振が出来ませんから。

B、女性の方のお話をしないと理由はたいていそれですよ。しかしどんな話だつて、全然目玉一つ動かさずに出来る筈はありませんよ。私はこんなに考えています。ゼスチュアを特に考える必要は少しもないというのですこれなら安心でしょう。

A、ゼスチュア無用論ですね

B、いや、そうじゃありません。まあ、おき

、下さい、私の意見はこうです。言葉には二つの面がある、一つは音声言語、普通にいわゆる言葉、もう一つは運動言語、これがゼスチュアと呼ばれている。この音声言語と運動言語と、一体となつたものが、我々の表現であり、言葉で二つを分離すべきものではないのです。例えば「太郎、一寸いらつしやい」という音声言語と、手招きをする運動言語とが一つになつて太郎さんと呼んでいるのです。ですからゼスチュアを特別に工夫しないで、自然に任せておけばよいでしょう。

☆「に」と「と」☆

A、それならお話が出来そうですが、果して子供がきいてくれますかしら、

B、その御心配ごもつとも、そこで私は最初は出来るだけ短かい話をなさるようおす、めします。三分か五分いや一分位でもよいのです、こんな短かい時間ならどんな子供でもきつとしずかにきいています。そこで自信が出来る、それからだんだん長い話をする、こうすれば大丈夫ですよ。私は先日ある幼稚園で先生の童話をき、ましたが、三十分以上の長い話なので、子供たちはすつかりあきあきし

ていました。この先生のお話は長いばかりでなく、「子供に」話してましたから尙失敗です。

A、おや、へんなことをおつしやいましたね「子供に」話してはいけないのですか。

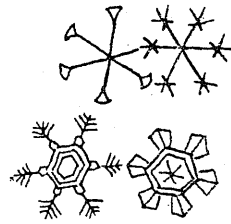
B、そこです、話をする態度に二つある。一つは「に語る」一つは「と語る」です。「に語る」方は子供がきこうがきくまいがたゞしやべつてゐるのです。昔大阪から「子供と語る」という雑誌が出ていましたが「子供と語る」はいつも子供の反響を考え子供と語り合う気持で話すのです。必ずしも一々問答体で話すというわけではありませんが。

A、なるほど「に」と「と」と、たつた、てにをは一字の相違ですが、たいへんへんだたりが出て来ますね。

B、まあ、おかあさんの気持ちになつてお話し下さればよいのです、上手下手は問題ではありませんよ。

A、どうもありがとうございます。せいぜい子供たちの楽しいお話を上げてあげましょう。

雪國の幼稚園 (札幌市)



藤 幼稚園

もつと降り、もつと降り、づうん、づん、づん積れ。

「先生、お早よう。」ひと晩の中に、音もなく降り積つた三・四尺の雪を、未だ極き終らない中に、第一の登園児に出会う。

「お早よう、まあ、早いね。こんなに積つていと思いませんでしたよ。余り静かに降るので……道がついていませんでしたよ。」

「お馬の引いていつた糞の通つた跡に細い道がついていたよ。」

何処を歩いて来たのか、冬仕度にすつかり身を固めた姿が全身雪だらけになつて、すつぱり被つた帽子に顔だけのぞかせて、はく息も冷たげに白色に揺れている。

「まあ、ゴム長の中でギッシリ雪がつまつて、中々脱げないじやありませんか。」

「手で引つればれば脱げるよ。先生！未だ誰れも来ていないの？僕、一等勝だね。」

雪と寒さを征服し、しかも第一着という優越感に、子供は満面に

笑を湛え、目は喜びに輝やくのであつた。「子供は風の子だ」漲る

成長力と旺盛な希望とは、困難ということを感じないらしい。それとも、お母様の着せて下さつた心の籠つた防寒着が、そうさせるのかしら。……大人は落葉の頃になると、「又冬が来ますね」と肩をひそめる。しかし初雪（大概十月の末か十一月の初め降る）が到来すると、もう子供達は、じつとしていられなくなる。それが保育中に現れるとさあ大変だ。雪やこんこ、あられやこんこ、降つてもくまだくやまぬ、と浮々、雀躍りして、スキーや糞の話でもちつきりです。「先生！もうすぐクリスマスが来るね。」

「嬉しいなあ。」
そうなると單元もすつから変えられて楽しい冬の数々の話し合
い、雪の観察、雪のお歌を次から次へ歌つて戸外の雪に見入りながら
果しない想像の国に思ひは高まる。どうして、こんなに、北国の子
供達は雪を楽しむのであろうか？私も子供達と共に冬が大好き。

それは一年中で一番楽しいクリスマスとお正月の数々の思い出が

つきまつわるから——。もう一つは冬籠り。家庭の愛がひしくと感じられる季節だからです。戸外は如何に寒さと吹雪が荒れ狂うとも、一家団欒ストーブを囲んで、家中が集り温かいふんいきに浸る時。それから又、もう一つは一種の成功感に似た、冬を征服出来た雄大な喜びが味われ秘められているからで、何となく魅力を感じさせられる季節なのである。此の意味で冬期に於けるカリキュラムのねらいは、自づと其処に落つく。天から下界へ降り来る数限りのなほ白い小さいお使達は、早くも子供達の心の扉を叩く。

「早くお支度して下さい。もうすぐイエズス様が御誕生になりますよ。」と。子供達は大好きなイエズス様がお休みになる寝心持のよい揺籠をお支度するために、小さな我儘もがまんし、ちよつとした善い行いを自分から進んで探す様になる。此の様に一月以上も掛つて心から準備されるクリスマスである。

お正月は冬休み中に行われるので、家庭の楽しみが主でその延長は一月の半ばまで持ち越される。カルタ、スゴロク、福笑い等、幼稚園では、それを又更に幼児向に工夫し自分達の手で作る事により家庭に於けるとは別に楽しみが新たにされる。古ハガキの上に出来た、自由画の自作童謡カルタ等も面白い。

又いろ／＼の思いやりが此の困難の中に培われます。北國特有の恐しい大地の下からゆずぶり返えされた様な吹雪は、大人でも正面に顔を上げて歩かれませんが、よく親御さん達は「どん／＼行らつしやい。とにかく幼稚園に着いたらもう安心ですから」

と云つて身体を温めて勇気をつけてお出しになります。それにしても、子供のたど／＼しい足は、早くも熱を発散しつくされ、肌を

さ、れる様な冷たさ荒狂う雪まじりの強風には、小さい力も尽きて進退極まつて只泣声になるより術がない。吹雪の日、空気も氷る敵寒の朝には、お友達二、三人に手を引かれて泣きじやくりしながら、時には見知らぬ小母さんと学生さん達に勞わられながら登園する子供が三、四人はいつもあるのです。中には先生の顔を見るなり、張りつめた意気が急にくじけて、泣き出す子供も見えます。幼稚園の支園には、先生や元気のよい年長組の子供達が待ち迎えて、その子のお弁当や靴の始末をお手伝い。まづかに燃えたストーブの所に連れて行き、「泣虫さんですから、場所を空けて下さい」とか、「偉いね泣いても歩いて来たのね」とか「直ぐに手を火にあぶると痛くなるから先に揉んであげましょう」とか、同情や励ましの声でそこ／＼から起る。その中に温かさが身に滲み、何時の間にか背と声を合せて、唱歌やしりとり遊びに解け込んでしまう。此の様な機会を見逃さずに、グループ活動や社会的好意をよく理解させる様に、種々な案が仕組まれます。

しかし、何と云つても、冬の保育を特色づけるものは雪の克服の元氣です。北國の陽は淡く、冬中晴天の日は数える位しかなくなる。殆んど半年雪の中に生活しているので、佝僂病が人口の二三をしめているのだから年中服用させる肝油ドロップスだけでは仲々間に合わず、せめて空気が浴だけでもと心がけ、雪の降らない日は積極的に戸外に飛び出させる。ところが、又素晴らしい保育の道場で、神より無償で与えられた果しなく続く清らかに壮大な雪の原は、無限に豊富な教材の宝庫である。からだの発育も知識慾も旺盛な第三学期にはあつたえの好保育ができる。丁度。大規模な砂遊びとお粘

土遊びをひつくるめた様な仕観だ。画面になり、立体になり、工夫に、創造に、協力的に、技巧に、運動に、全く理想的保育生活である。只日々に留意していなければならぬことは、日中の一番気温の高い頃を見計ること。と、しょんぼり立すくんでいるような子供に活動を促すことです。深い雪にうづまるけれども、勇敢な先鋒隊が道を開らければ、後はやさしい。小さい雪玉を作つてころがせば雪球はだん／＼重くなる。その雪球はとも大きい。それにさまざまの小さい彫刻家達は吹き出しそうな人間の形を彫り、動物、乗物、何んでも自由自在である。先生の大きなスコップが加勢をすると、乗つても崩れない大きな馬が出来。数人乗りの電車が出来る。本当にくぐれるようなトンネルも出来、櫓の汽車が汽笛をならして通り過ぎる。西に東に分かれて出来たお城からは雪玉合戦が始められるし小さい組の子供達は「雪人形倒し」に勢よく興ずる。時間のたつのも寒いことも全く忘れる。こうして北国の子供達は雪を友として、年々、強く伸び／＼と育つて行くのであります。

土地々々の自然に打ち克つ、というよりも利用することに心を盡されてゐる諸先生の明るさと努力とによつて、日本中の幼児がそれ／＼幸福によく保育せられてゐることは、有り難いことです。本文は北海道札幌市の藤学園幼稚園（園長レギーナー先生）に特別にお願いして寄稿していただきました。北海道その他雪国の幼稚園は皆此の通りでしょう。御苦労なことです。（記者）

（21頁から）

亦食後のうがいの微温湯も用意して、とお母さんに手をかけて貰えない子供の為に手落なく心遣をして上げよう。昼食後一番暖い時を見て外に出る。白一色の外界は子供にとつてどんなに魅力的な事か。冬の難物、風邪の予防には毎年の経験から自信を得て寒中でも余程の吹雪の日でない限り私達は身仕度宜しく子供達と共に外に出る。勿論気温と時間には充分注意の上で。急に外の冷たい空気に触れない様に中間温度の廊下でオーパーや手袋を自分の手で着けさせて時間をかけ外気との調和をとる事も小さいけれど大切なこと。私達の観察で外へ出る事を許されない子供の羨しそうな顔が窓硝子から覗いている。その日の当番の保母さんが屋内掛りで、不満らしい子を何とかひきつけて紙芝居やおま／＼ごと、団体遊びなどストーブを囲んでの楽しい一時を過すのも北国ならではの味でしょう。外は今興奮の絶頂。櫓、スキーそして雪の芸術……。とう／＼今年も厳しい冬がやつて来た。私達は北国人特有の底力をもつて胸ふくらませて冬將軍に挑むのだ。

（筆者 谷地頭保育園主任保母）

雪國の保育所（函館市）



藤 沢 う め

その形から臥牛山と名づけられる函館山の麓、南側盆地に、あたかも函館八幡宮に抱かれる様に建つ赤い屋根のお家、こゝが私達の小やかながら楽しい我が家、谷地頭保育園なのです。

裏山の木々が紅、黄色と美しく彩られて一ひら二ひら落葉が保育室の窓から舞込む頃から私達北海道の保母はそろ／＼暖い地方の皆様と違つた保育に入るので。晩秋から初冬へ。拙い日記を拾つて見ました。

十月二十〇日

今日は日曜日、昨日からの寒さで若しやと思つていたら築の定屋頃からチラ／＼初雪が降つて来た。

既にストーブは取付けたし石炭も石炭庫に一ばいだし何時冬が来てももう平気、私はみかんの空箱に夏の頃から丹念に乾かしておいた焚きつけと紙屑を入れて明朝の準備をして置く。それから古新聞を十六分の一に切つて、これはこれから特に忘れられない鼻紙の用意に、また明日は週一回のDDT撒布日だった。厚着をする様にな

るとどうしてもしらみの危険が多くなるので十月から三月迄は頻繁に撒布しなければならぬ。

長い冬を控えて御飯事の道具ももう一組ふやして頂く様に園長先生に御願ひして置こう。積木は先日また買つて頂いたし絵具もそしてひ／＼のお薬も……御部屋遊びが多くなるので御飾りも色彩をよく考へて置きましょう昨日子供達が落葉を拾つておしぼにしておいたのでそつと様子を見ておく。色々な葉っぱがぎつちり並んでいる。明日はこの葉っぱで何が出来るやら。

十一月〇日

午前五時、さあ私の一日が始まる。

花畠に残つた黄菊が今朝は殊に美しい。

早朝の清らかな気持の中に、とそんな事を思いつつ、一枝折つて花瓶にさす。保育室がバツと明るくなつたよう。「先生お早う」お早う早いね、真赤なほつべた、元気な声、白い息を吐きながら○ちやんと△ちやんは今日も元気だ。外気と余り差のない様にトロ

く燃やしておいたお部屋や遊戯室は丁度十四度。うがいを終ると手が冷たかつたのだらう。○ちゃん達は歌に合せてお手こすりを始めている。咽喉の保護から、うがいは大分前から始めていたが、お手こすりは霜やけの予防にと去年励行した事を思い出したのでらう。今日から始めようと相談していた私達の気持をくんでくれたみたいといじらしくなる。「お早う」「お早う」来ることく生きたお花の様な子供達が。さあ私達六人の保母はそれぐの仕事に専念するのだ。

「これはサイロよ。こゝが叔父ちゃんのお家」○子ちゃんが一入言を云いながら絵を画いている。この間田舎へ行つて来たので思ひ出しているのだらう。「先生コロちゃん今眠つてるものね」突然△ちゃんが話し出す。

ハ、ア前にお話してやつた蛙のコロちゃん冬の眠を思ひ出したのだ。「そう蛙さんも龜さんもかたつむりさんもおねねよ、でもねまだまだくして後れている蛙さん達がいるかもしれないから冬ごもりの終列車を出しましょうか。今日はお天気もいゝし」「うん隣、機関車」「あのね、土の中にもぐるのですよう。誰の汽車がいゝ、かしら？」「もぐらさんにしよう」「じゃ外へ出てしましようね」「ワッ嬉しう」

これから半歳の間北国の子にとつて晴天の日光は何よりも貴重な健康薬なのだ。小春日和の今日を逃してはと御仕事をすまして早速外へ。いよく劇遊び冬ごもり列車が始まる。秋晴れの広場に集つた子供達に二三日前から準備しておいたそれくのお面をつけて仕度にとりかゝる。

「入る穴がある」これは椅子で間に合わす事にして、「さあ始め

ましよう。」歌つたり踊つたり話したり……どこまでも澄み切つた秋空の下で楽しい無我の境が展開される。やがて遊び終つた子供達と一緒に私は思ひ切り大きな息を吸う。透徹した秋の空気は子供とそして私の心身を清浄にしてくれるのだらう。この広々とした原つばももう直き雪の芸術の祭典場と変るのだ。

十一月二十〇日

もう直き十二月と云うのに珍しく暖いと思つていたらいきなり冬がやつて来た。遠く前面に見える函館公園の木々はすつかり雪をかぶつて高山の樹氷を思わせ、例えようもなく美しい。保母さん達は何時もより早く出動して一夜の中に積つた雪をかいたり電車道まで運いに出たり。また寒暖計を見いゝストローフを焚いたり、それく仕事に忙しい。睫毛にまで雪をつけながらも泣かずにせつせと急いで来る子供達は着ぶくれて北極の子熊さんみたい。必死に寒風と闘つて園に入った途端に安心と嬉しさをこつちやにしてニツと笑う子に思わず「強いね偉いのね」と手を取つてやる手がかじかんで、自分では出来ないのオーパー手袋をとり長靴も脱がしてやる。長靴の中には雪が一ぱい。霜やけ性の子には汚れた手足をお湯で綺麗に洗い少しの湿り気もない様に、乾いたタオルでふきとつてひゞ薬をすり込んで……と毎年の経験から生れたひゞ、しもやけの手当も毎日の日課として受持の保母さんがせつせと始めている。雪の凍りついたオーパーや手袋、靴等をストローブの囲いにかけて次々に乾かしておくのも冬のお仕事の一つ。御弁当棚の位置もストローブの近くに變えて御飯が冷たいために齒根を刺戟する事のない様に。

(19頁へ)

第一回九州幼稚園 連合大会を終りて

高 森 豊

第一回九州幼稚園連合大会は、熊本県を当番として秋晴れの十月十七、十八の二日間熊本市公会堂（第一日）及び熊本大学教育学部附属幼稚園（第二日）に於て左記要綱によつて開かれた。

一、趣 旨 九州地区幼児教育者の参集を以て幼児教育の全般につき審議研究し其の総意を結集すると共に社会の理解を深め幼児教育の振興を図る。

- 二、名 稱 第一回九州幼稚園連合大会
- 三、主 催 1、九州幼稚園連合会 2、熊本県幼稚園連盟 3、熊本県教育委員会 4、熊本市
- 四、後 援 熊本県、熊本県教職員組合、熊本市教職員

五、会 期 昭和二十七年十月十七日十八日二日間
 組 合
 熊本市公会堂（十月十七日）熊本大学教育学部附属幼稚園（十月十八日）

六、會 場 市立五福幼稚園
 附属幼稚園 実地保育会場

七、日 程

十七日	金	開會式	9.00
		議 事	10.00
		記念講演	11.00
		報告會	11.30
		シレクリエー ション	12.30
		食	1.00
		分科會	1.30
		幼児画展	4.30
十八日	土	實地保育 研究討議 移動	5.30
		報告會 閉會式 中食 市内觀光 幼児画展	

記念講演 幼児の遊びと体育

熊大助教授 大崎サチエ先生

実地保育 附属幼稚園 五福幼稚園

幼児画展 熊本日日新聞社三階

十月十七・十八・十九日

八、レクリエーション郷土藝術

九、市内観光 十月十八日 熊本城 水前寺

○大会終了後特別バスで案内致します

一〇、観光コース 十月十九日(日曜日)

阿蘇登山―登山バスで日帰り

議事

大會議案

一、保育所と幼稚園の線をはつきりすること(鹿児島県)

二、入園希望者激増の状況に鑑み、幼稚園教員の為に幼稚園教育の課程を重視する様教員養成学校に要望するの件(大分県)

決議事項

第一議案に対しては

イ、九州幼稚園連合大会の名に於て文部省、厚生省の両省に要請する。

ロ、各県に於ても関係当局に要請すると共に放送機関を通じて啓蒙する。

第二議案に対しては

各県の実情を調査して、教員養成機関に要望する。

を通過して啓蒙する。

第二議案に対しては

各県の実情を調査して、教員養成機関に要望する。

× × × ×

鹿児島県よりの緊急勸諭により宣言文起草が可決された

宣言

我が国に於て一般の幼児教育に対する関心が高まりつゝある時、九州幼稚園連合大会が結成され、その第一回の大会が教育界熊本に於て開催されるに当り、幼稚園の正しい使命と幼児教育の重要性を世に訴えろと共に九幼の結合を愈々強固にして幼児教育の充実に邁進する事をここに宣言する。

昭和二十七年十月十七日

九州幼稚園連合熊本大会

分科会

第一分科会

1、小学校との連関を密接にする方法如何 (鹿児島)

2、事務職員をおくの件 (長崎)

3、専任指導主事設置の件 (熊本)

第二分科会

(27頁へ)

第2回全国佛教保育大會について

主催 関西佛教保育団体

後援 日本佛教保育協会

鳥 越 正 道

(1) 日本仏教保育協会 の来歴

昭和の初め頃から、安藤正純氏を会長とする仏教保育協会は、機関誌「仏教保育」を出し、毎年夏期には、倉橋惣三氏、関寛之氏等を講師に、仏教保育講習会を盛大に開催していたが、戦争に妨げられ中絶の止むなきに至つた。

昭和廿一年十一月、東京女高師に於て開催された第一回の全国保育大会を機会に、各府県の仏教保育関係者の集りをもち幼稚園、保育園を打つて一丸とする全国仏教保育連盟の名で再発見することとなり、その後毎年全国保育大会の開催地に於て会合し、講習会も毎年

開催する運びとなつた。

昭和廿五年十月、第一回全国仏教保育大会を山梨県身延山久遠寺に於て開催し、日本仏教保育協会と改称され、会長に椎尾弁匡博士を推し今日に及んでいる。

(2) 大会開催の状況

第二回全国仏教保育大会は、十一月八日九日十日の三日間錦秋の仏都京都に於て開催され、会場には東本願寺議事堂があてられた。日本仏教保育協会としては更に組織強化の必要性が認められていたので、京都東福寺慧日幼稚園に事務局を大会準備委員長に高橋浩洲氏を挙げ、関西の仏教幼稚園、保育園の各団体が合同して主催し、協会はこの大会を後援するという形式をとつたのである。

そしてこの大会を契機として、幼稚園と保育園の別なく、宗派を超越し、全国仏教保育関係者の組織を強化し、積極的に協会充実の機会としたのである。

さてこの大会には、北は北海道より南は九州の涯に至るまで八百を越え九百名に近い多数の参加者を得、幸いにして三日間好天に恵まれて極めて盛会裡に終始することが出来た。

○第一日（十一月八日、土）仏教保育講習、開会式、午前九時

国歌斉唱、開会の辞について、大会委員長上田顕光氏より

挨拶があり、午前中は、左記の講習が催され受講者に多大の感銘をあたえた。

「幼児の宗教情操について」

東大講師 医学博士 黒丸正四郎氏

「仏教童話の扱い方」

久留島武彦氏

昼食の休憩時間を利用して「仏教保育の歌」の歌唱指導を行った。

午後一時より四時まで、左記遊戯の講習がなされ、各講師の熱情溢るゝ指導と相俟つて非常に和やかに有意義であつた。

「仏教舞踊」

賀来琢磨氏、同和子女史 伴奏 本多鉄磨氏

一方、午後一時よりは山内宮御殿を会場として、委員会が開催され、第二日の大会の運営を中心に、日本仏教保育協会の諸問題の検討、組織強化の方策等について慎重に審議された。

引きつゞき、午後四時から参加者の親睦を目的として、東本願寺枳殻邸に於て座談会が開かれた。史蹟名勝たる涉成園の雄大な風致を眺めながら、各地からそれ／＼感想が述べられ、最後に京都各園有志の「京都音頭」があつて和やかなうちに第一日を終つた。

○第二日（十一月九日、日）大会、協議会

開会式 午前九時、式典式辞、経過報告の後左記の通り進められた。

祝 辞 文部大臣 京都府知事 京都市長 京都各宗本山 代表

祝 電 厚生大臣 日本保育連合会委員長（倉橋惣三氏）

その他十余通

仏教保育の歌 参加者一同斉唱

議長、副議長選出、議長末広愛邦氏挨拶、協議案上程の後左記緊急動議が提出され、起草委員を挙げて可決した。

1、十日、皇太子成年式及び立太子の礼につき、大会の名をもつて、皇室に奉祝電報をもつてお慶び申上げること

2、大会宣言決議に関する件

記念講演 十一時～正午

新時代の仏教―保育面を主として―

日本仏教保育協会長 文博 椎尾弁匡氏

仏教讃歌コーラス 正午～零時廿分

京都仏教各大学合唱団

指揮 京都女大 上村けい女史

〔大会協議会〕 午後一時～四時

一、日本保育の祖として法均尼（和氣広虫）の顕彰運動を推進するの件

（東京高等保育学校、横浜聖徳保育学校提案）

可決 七名の委員に付託

二、仏教保育事業を援助する様各宗当局に対し懇請するの件
仏教保育施設に設備資金の専門的融資機関或は互助的機関
の設置についての構想あれば承り度し 以上二案

(神奈川仏教保育協議会、角田定證提案)

可決 実現については事務局に推進一任

三、仏教関係諸大学に保育に関する課程を設置し、或は仏教
保育関係教師養成講習の開催等を要望するの件(神奈川仏
教保育協議会提案) 保育従事者の仏教情操涵養に関する全
國的運動を展開するの件(京都仏教保育会、広兼円澄提案)
仏教的信念を有する幼稚園教諭、保母の育成に関する件(日
本仏教保育協会東京支部提案)

可決 委員付託

四、仏教保育用讃仏歌及童謡歌詞の新作懸賞募集及び歌集編
纂の件(神奈川仏教保育協議会提案) 仏教共通の保育教材
刊行に関する件 (日本仏教保育協会東京支部)
仏教共通の日課及び年中行事要項の協定に関する件

(同右)

可決 各府県一名宛の委員を常置して実現にあたる
五、協会の組織強化についての方策に関し

- (1)、各都道府県仏教保育団体の諸活動に対する日本仏教保
育協会の積極的指導方針を確立され度し
- (2)、仏教保育の組織強化に関し仏教保育関係者の名簿を緊

急に作製されたし (神奈川仏教保育協議会提案)

- (1)、については前日より既に委員会に於て慎重に審議され
今回の大会を契機として充実することになつていたので
十分その希望に副うよう努力する。規約の変更、改正、
役員の変更等委員、理事会に付託することに決定
- (2)、については (1)に当然含まるべき事項として諒承、整
備に努力する。

以上の如く審議は行われ、つゞいて付託された各委員より
実現又は強化に関する方策について報告があり、最後に今回
大会の宣言案が左の通り拍手裡に可決された。

宣 言

さきに世界仏教徒会議が開催され、私達仏教徒の使命は世
界平和、仏国土建設であると宣言された。

今茲に第二回全国仏教保育大会を仏都平安の都で開催する
に当り参加者一同は左記の通り宣言する

- 一、私達はみ仏のみ光を仰ぎ一致団結してますます仏教保
育に精進します。

一、私達はみ仏のお慈悲の心を持つて何時も幼児を清く素
直に育てます。

右決議する

昭和二十七年十一月九日

第二回全国仏教保育大会

次回開催地としては、神奈川県に予定された旨発表があり、殿爾と歓喜の雰囲気の中に閉会式が挙げられた。散会後は各宗派の保育関係者懇談会が夫々各本山に於て行われ、全国各地よりの入浴を機に久闊を叙しあい、大いに氣勢をあげた。

○第三日（十一月十日、月）リクリエーション

二日間の講習、協議会の日程を終え、第三日はレクリエーションとしてA班は京都市内近郊を、B班は桃山、奈良、法隆寺等をいづれも紅葉、黄葉に美しく彩られた名所旧蹟を觀光バスで見学、一日を思い出深く楽しくすごした。

かくて、仏子愛育の聖業にたづさわる、幼稚園と保育園が一つに結びあい、感銘深き三日間も漸く終りを告げ、三々五々次の再会を約し、名残りを惜しみつゝ、京洛の地を去り行き、第二回全国仏教保育大会は多大の成果を取めて無事終了した。

（記録者 京都、神泉幼稚園長）

（23頁から）

- 1、幼児の言葉の指導の在り方（長崎）
- 2、幼児の社会性の導き方（リ）
- 3、幼児の行動観察記録の方法及記録簿について承り度し（長崎県）

第三分科會

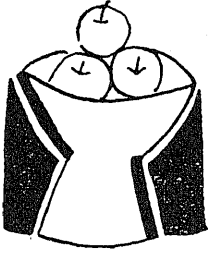
- 1、我が国幼稚園の現状で自由保育をどの程度に取り入れてよいか（宮崎県）
- 2、幼児面の在り方（熊本県）
イ、見方 ロ、育て方 ハ、使用材料
- 3、幼稚園のカリキュラムは如何にあるべきか（佐賀県）

實地保育 大会をより有意義にする為に計画された実地保育は、各園に於て熱心な討議が行われ予期以上の効果をおさめることが出来た。

次期開催地 鹿児島県に決定

幼児畫展 大会期間中、熊本日々新聞社三階に於てアルゼンチン幼児画と共に、県下の幼児画展を開催した。参会者参百名をこえ盛会裡に会を閉じた。散会後市内觀光、翌十九日の阿蘇觀光（希望者）も晴天に恵まれ楽しい一日を過して大会の思出を深くした。

（熊本県幼稚園連盟会長）



生理慾望の教育

— (2) —

加藤常吉

飢えの教育(1)

前稿でも述べたところであるが、人間を一個の有機体としてながめるとき人間とは、活動すれば飢え、飢えればどうしても食べなければならぬ存在である。もし、食べることを否定すれば、死んでしまうものである。このことは、判りきつたことなので、これのこと更、書きたることに、読者はおかしさを感じるであろう。しかし、わたくしの述べたいのは、有機体である人間にとつて、これほど大きな「飢え」が、これに関わりあひをもつ科学の世界で、今日まで割合いうとんじられていたところに問題がある。とくに、教育がそうである。

こと更、「飢え」の慾望が、日本の教育環境で重要視されなければならぬ理由としてあげられるのは、「飢え」が調整されるための外部的条件、つまり食糧の経済事情が極めて悪く、これが教育の成りゆきに影響しているところ

が非常に多いからである。このような事実から判断して、本稿では、「飢え」の教育の理論——ブラッツ教授にもとずいた——にあわせ、この特殊性をもとり上げたい。

(一) 飢えの生理

「飢え」は、有機体である人間の体内で、どのようなかたちで活動しているのであろうか。これを先ずながめてゆき度い。

われわれが、故意に体を動かそうと動かすまいと、それには関わりなく、有機体である人間の体に、ちようど、時計のように活動している。活動するかぎり、身体組織は消耗することは明らかである。そして、機能に欠損が生じる。有機体である人間の身体が健全をはかるためには、当然のこと、この機能の欠損を回復しなければならぬ。のみならず、發育のさかんな子供であると、機能の欠損に加えて、發育を遂行するに足るだけの物質を必要とし

ていることも、亦明らかである。有機体である人体に必要なこの種の物質とは、栄養を指すものである。これらの栄養は、何れも食べものとして体内にとられる。

たべものと消化作用 たべものがどのようなかたちで、体組織にかわるかと云えば、これは消化作用をながめなければならぬ。これを物質を中心にしてながめてゆこう。

唾液 食べものが口中に入つて咀しやくされている間に、唾液の出ることは周知の通りであるが、その構成要素である「プチアリン」は、澱粉を加水分解して、麦芽糖にし、更に葡萄糖にする役目をもつている。

食道 食べものが胃にはこばれるのは、食道の上部から環状の収縮がおこり、この波動によるものである。

胃のはたらき 食塊が食道の下部におくりとゞけられると、噴門の括約筋が反射的にゆるんで、それが胃中に入る。それが終れば、噴門はまた反射的に閉じる。食塊が幽門部に達するころ胃液が分泌される。そして、胃特有の運動である蠕動がおこり、この胃の上部から下部にむかつておこるくびれた波動によつて、食塊がよくまぜ合わされる。

胃液 この成分は塩酸、「ペプシン」「ラブ」酵素、「リパーゼ」などである。塩酸は「ペプシン」のはたらきを積極的にはたす役目をもつており、固形の蛋白質を膨らせて、消化酵素の作用をたやすくさせる。「ペプシン」は最も重要な酵素で、酸性液の中で蛋白質を分解して「ペプトン」に変える。「ラブ」酵素は「カゼイン」を固める作用があり、「リパーゼ」は脂肪を分解する役をもつている。

反射性と局所性分泌 生理慾望の教

育の面からながめて重要なことは、胃液から泌される状態である。学問ではこれを二種に分けてとり扱い、その一つを反射性分泌、他を局所性分泌と呼んでいる。すなわち、前者は食慾反射のもので、味覚のはたらきなどが、主な原因となり、食慾が外部的条件によつて、影響されることを物語つている。後者は、食物自体の直接刺激をさすもので、食物の化学的配合が、食慾を支配することを語つている。何れにしても、食慾が人工によつて相当に影響されることを証明するものである。

小腸のはたらき 体の栄養をとるというたて前から、小腸のもつ役割は大きい。小腸からは四種類の酵素を含んだ腸液が分泌される。その一つは「エレプシン」で、腸液や胆汁のはたらきをうけた蛋白質を、アミノ酸に分解をまた他の「インペルターゼ」「マルターゼ」「ラクターゼ」は、唾液や胆汁のはたらきをうけた澱粉を分解したり、

吸収され易い糖分に変化させる。小腸には分節運動がおこり、また、ゆるやかな蠕動もおこる。これらによつて内部の食塊が消化される。小腸の内部の食塊とは粥状のもので、これが、小腸の内面の特別な仕組である絨毛のひだがいくすぢも通つている外に、小さな突起が無数に出ていて、こゝで栄養が吸収され、身体の欠損の箇所またその他の栄養を必要としている箇所におくりとゞけられる。

大腸のはたらき 大腸内におくり込まれた食塊とは半流動性のもので、その成分は主に、食物中に含まれていた滓滓と、ごくわずかな消化されない要素と、消化液の成分とである。大腸にも分節運動と蠕動とがある。また逆蠕動と言つて、上行結腸から逆行する運動がおこる。この際に、内部の水分が吸収される。こうしているうちに、大腸内のものが適当な硬さとなり、正常の蠕動がおこり、排便の道すぢをたど

つて、消化器の活動を調整する。

右のような消化器の活動を、興味多くながめる読者は、「飢え」とは身体機能の局部的現象ではなく、有機体の存続のためにおこる一貫した生理活動からおこるものであるのがわかる。生理機能の面からもとめられる「飢え」の教育の意義とは、生活活動をいとなむ有機体が、より健全な活動を發揮することのできるために、最も好条件におかれることを要求するところにある。

栄養 有機体の健全な活動、とくに発育期のさかんな幼児のその場合、栄養は大きな条件となり、栄養については、こゝに深入りする余裕をもたない。今日、栄養は大體五つの主な群にわかれる。そして、身体の構成や活動にそれらの役割をもつている。すなわち、(一)蛋白質で、有機体の組織をつくりまたカロリーのもととなる。これには動物質のものまた植物性のものがある。(二)含水炭素で、カロリー

1のものとなり、穀類、いもなどから得られる。(ハ)脂肪で、カロリーのもととなり、動物性、植物性のものがある。(ニ)ビタミンで、生活体に不可欠のもので、主として生の野菜果物から得られる。(ホ)無機質で、カルシウム、磷、鉄などを指し、骨格、歯などを構成し、小魚類、牛乳などから得られる。

セント チオーチ スクールの指導

前稿であげたトロニト大学のセントチオーチ スクールでは、子供の栄養指導をしているが、この学校では栄養士が、学校当局と常に連絡をとつて、発育期の子供に、どのような栄養が必要であるかをぎんみして、一週間の昼の献立をたて、給食する。前稿にも述べたように、この学校では、正常な子供の生理慾望の生活指導を目的としているもので、学校での給食が、主な食事となる。同時に、学校ではその一週間の家庭でとる朝食の献立をつくつて

セントヂオーヂスクールの献立表

(1935年2月11日-15日)

それにもとずいて調理して貰うように要求する。いま、一九三五年二月十一

日から十五日の一週間の献立て表をかゝげると次のようである。

	月	火	水	木	金
家庭で用意された朝食	オートミール 卵 バター ミルク	クラッカー ツマミ ソーダ ミルク	セリア オートミール パン ミルク	セリア オートミール パン ミルク	パン コン ミルク
午前11時トマトヂウスを毎日の心					
学校での食	牛肉 焼いた ポテト いんげん のバター のめ ろし お粥 砂糖 煮 バター カツ 肝油 少量	ロースト した いんげん のバター のめ 赤かぶ の生 レモン ジュース 肝油 少量	クリーム パン セリア のバター 交換した ポテト 青いんげん のバター のめ 生 コップ のバター パン 肝油 少量	ロースト パン 焼いた ポテト 野菜 のバター 生 コップ のバター 肝油 少量	小羊 のシ ニ レター ス オリ ンヂ 入 リク リ ム バター つ き パン 肝油 少量
午後1時30分 ミルクを毎日の心					
家庭で用意された夕食	セリア オートミール パン ミルク	ほう ろの 卵 の バター のめ シ ロ パン の バター のめ ミルク	濃い 野菜 ジュ ース の バター のめ パン 肝油 少量	セリア オートミール パン ミルク	レター ス 入 リク リ ム の バター のめ パン 肝油 少量

日本の学校給食は、食糧の不足を補うところから出発しているが、セントヂオーヂスクールが実施しているように、より完全な栄養を子供に提供するために、家庭が協力することができた

らどんなによいであろう。この表で、更に注目したいのは、午前十一時にトマトヂウスを、また午後二時半にミルクを与えることである。このような栄養指導が日本の学校

できたらと思う。

いま一つ目にとまることは毎日肝油をあたえていることである。これは寒い国で冬期にビタミンAをとるためである。

(二) 飢えと意識

飢えが、直接に精神に影響をあたえるものとして、この意識をとり上げなければならぬ。意識と教育との関係は極めて大きい。

感覚、先ず飢えがどのようにして意識されるのであるか、それを生理の面からながめたい。この基礎となつていゝものは神経の活動である。胃のねん膜には神経が通じている。この神経が胃の内部の状態を、脳の中核に伝える。胃が空になつてゐる場合は、胃は収縮している。そしてその低部にはあわが發生している。このときの胃からおこる感覚とは、鈍痛のようなものである。この時期にはたらく心理は、不

安感であり、またその状態が調整されたいという欲求である。右のような感覚また心理が一緒になつて「飢え」となつてあらわれる。

飢餓感 飢えの感覚とは、以上述べたようなものであるが、生理学の上では飢餓感と区別されるものである。飢餓感とは、飢えが空腹のときにあらわれるのに対して、満腹になつているときでもあらわれるものである。

すなわち、飢餓感とは、ある特定の要素の食べ物に対しておこる感覚である。たとえば、ビタミンCが不足しているとき、どのように多く澱粉や蛋白質の食べ物をつたべようともいやされないで、ミカンや緑野菜をほしくするのは、これがためである。結局、欲しているビタミンを含む食べ物をとらない限り、この種の飢餓感となつてあらわれる。

次に、飢えの意識は人間の生活に、どのような影響をあたえるであろうか

を考へてゆき度い。このことは、この意識が直接教育——主として人格の——に影響するところが多いことを意味するので、こと更重要であるといへる。

飢えの意識は教養や人工で解消されない この重要な点は、飢えの意識は教養や人工では解消されるものでないという点である。飢えとは、すでに述べたように、生理現象である。これには感覚のはたらきがともなつており、たえず人間の体が有機体として生存している限り、飢えは神経機能の上で感覚となつて活動するものである。これが前稿でも述べたように、他の精神的慾望とちがつている理由であるし、また教養や人工で解消できない理由となつている。

飢えの意識にとりなつて、今日までさまざまな教養が加えられてきた。とくに、教育を精神主義のものに解していた日本でそうである。たとえば「武

士は食わねど高揚子」や「侍の子というものは、腹が空いてもひもじうない」などは、そのよい例である。しかし、よく考へてみるとこれは言葉の教養としては成立はするが、事實は不可能であることが、日本の戦時の食糧経済事情がよく証明している。むしろ、このような美しい言葉の教養が戦前にあつたために、戦時の社会的秩序をみだす原因にすらなつたといえる。尤も終戦直後に東京地方裁判所の山口判事のように、死を賭して法律をまもつた人もおられるが、このような日本人の数はごくわずかであつた。

飢えの意識も、他の強くはたらく刺激のために、一時かけをひそめている場合はある。たとえば、非常に興味の多い本によみ耽つているようなとき、これを忘れてゐる。だが、その時間限度があり、またそれに関連するものたとえば、食事のベルが耳に入るようなときに、飢えの意識は急によみがえつてくる。

この稿の読者の対象は幼児にあるに
ちがいないので直ちにわかるようにま
だ自制力の十分やしなわれておらない
時代の幼な児が、生活の上で解消でき
ない「飢え」をながく経験することは
耐えられないこと、言わなければなら
ない。

(三) 飢えのリズム

飢えの活動はリズムの法則にもとず
いて遂行されている。これはまた教育
と密接な関わりをもつものである。こ
のリズムの法則は三つの過程から成り
立っている。

第一は、飢えの慾望が満たされてい
るときであつて、飽和の状態にあるこ
とを意味する。

この状態も、身体の活動にともなつ
て、除々に均衡が失われてゆく。生理
的なリズムの法則にあわせて、考えさ
せられるものは、心理的特ちようであ
る。第一の過程でいえば、これは満足

に平安な感じである。この心理的特ち
ようも、身体の活動にともなつて除々
に消えてゆく。

第二は、身体の活動にともなつて、
機能の上にあられる均衡の失れた状
態が、一層はげしくあらわれる時期で
慾望の面からいうならば、明らかに調
整を必要としている時期である。つま
り、機能の均衡のやぶれたのをとり戻
そうとして、活動体である人間は、こ
のための補償となるたべものを求める
ようになる。言うまでもなく、この調
整は、生活環境にはたらきかけをおこ
すことを意味する。第二の過程でみら
れる、心理的特ちようとは、不安の感
が大きく活動することである。

第三は、生理機能の均衡のやぶれを
とりもどすために、人間が生活環境に
はたらきかけをおこし、調整の目的を
とげたときをいう。つまり人間が、空
腹にたまりかねて、食事をしたときを
いう。そして、機能の均衡の破れがと

りもどされる。言うまでもなく、心理
的には不安が解消して、満足と安定感
にかえる。このように、第三の過程で
は、生理機能も心理も第一の過程の最
初にもどる。

読者も気づくように、リズムの法則
にもとずいて活動する飢えとは、波状
をもつてはこばれてゆくのがわかる。
すなわち、慾望の飽和期、高潮期、遂
行した後終熄期である。

教育の面から、リズムの法則からな
がめられる、飢えの教育的効果はすこ
ぶる大きい。第一に目のつくことは、
人は一定時間に食事をとつていること
である。今日の文明社会では、三度食
事をとるのが慣わしとなつてい
る。しかも、その時間も大体定つてい
る。これは、社会が要求したのではなく、
むしろ、人間の飢えの慾望が定めたも
のと云える。このことは社会生活の型
が、人間の飢えの慾望の上に立つてい
るとなまれているということが出来る。

そこで、ブラッツ教授はいう。社会生活の不適応児、とくに、時間生活を励行できない子供をよく観察すると、この子供は単に社会生活で時間が励行できないだけではなく、生理生活、とくに食事をとる時間が一定しておらない。彼の社会生活の不適応は、彼のルーズな性格から起つたものであり、結局、これは生理生活、とくに、飢えをみたず食事時間がみだれているところから影響されていることが判ると。前稿でも述べたように、ブラッツが生理生活を通して、子供の基礎習慣をつくることに着目しているのも、実は、子供が正常な社会生活の行動をとれるものに生い育つことを願つたのに外ならない。ブラッツのセント・デオーズスクールで食事の量と時間とをやかましく指導するそのねらいは、最も正常な社会生活を遂行できる人格を早くから確定させようとするものである。

生理慾望をリズムの法則からながめて、いま一つ重要な点は不安の問題で

ある。子供の社会的不適応行為、とくに偽りや盗みのおこる原因に第二の過程の不安から起つているものがあるが

この稿は正常な幼児の教育を対象とするのでこれを省くこととする。



書評

松村康平著

『幼児の教育』

上沢謙二著

『幼児はなしの話し方』

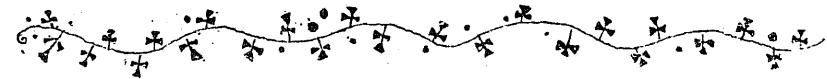
幼児にはどのように接したらよいか。幼児はどのように教育したらよいか。幼児とはどういうものか。幼児はどのように導いたらよいか。幼児の教育にはどういうことが必要か。——これが、この愛らしい本の目次であるが、著者は、本誌読者の既に接して知つていられる如く、狼剣と実感と詩趣に富む美文を以て、味も多く、幼児の教育を語っている。金子書房刊行の『教育文庫』の中の一冊である。

(東京都文京区大塚坂下町金子書房
発行。定価一〇〇円)

お話がつくる世界。お話をつくる要素。お話をつくる段階。お話に應ずる心理。幼稚園はなしの種類。お話と話者の融合。お話をはなす話。おもしろいお話とは。お話のふるさと。……この目次を見ただけで読者は此の書にひきつけられるであらう。著者は、みずから、い、お話を書く人、うまいお話をはなす人。著者の文に既になじみの多い本誌読者は、このなごやかな本においてにこやかな著者に接するおもしろいであらう。(東京都中央区銀座西八の八、都ビル、恒星社厚生閣発行。定価二〇〇円)

内 氣 な 子 供

谷 口 和 子



問題の子供があつて、その問題の原因はこれらしいとわかつてみても、その解決は名医の外科手術の様に手際よくかたづけかない。又これらしいと思う原因の解釈が、単に問題が解決したから適当であつたとか、解決しないから不適当であるときめられるものではない。むしろ問題は一つでかたづけかない複雑な原因から起つていることもあるであらうし、それは親からうけた素質であることもある。現場の教師は病気に名前をつけるそのことよりも、頭のいたいことを熱のあることを健康な状態にするために毎日手をかえ品をかえて苦心している。これはその過程の一つの記録である。

満四才の男子、四月に入園してまる一ヶ月幼稚園の中にはいると口をきかなくなり、たゞ年長組の世話すきの女の子に手をひかれて頭が大きく下半身の短いかにも幼児くさい姿で、あちこちあるくか、紙芝居やお話の時にまるい膝をちよんと二つそろえて眼をまると開き、さりとて別に感動した風もなく聞いているという状態ですこした。

- 様に手をかたく握りしめ、かくことを強いると大粒の涙を流して大声で泣く。
 - 粘土細工はざわつてみようとししない。
 - 身体検査の時は体をかたくして今にも泣きそうになる。
 - 階だんの登りおりを泣いていやがる。
 - お弁当のはじまる頃になつても(五月)まだこれらの状態は変らずお弁当を持つてきても食事をしないで帰る日がつゞいた。
- 調査による家庭環境は 祖母、父、母、中学一年の兄と小学校五年の兄に本人、六人家族父母共に大学卒、父は大学教授、父母共に話し言葉等丁寧で静かである。
- 送り迎えをする母の話によると、ひらかなは全部よみかき出来、友達の名前を胸のハシカチから読み取つて帰る家で報告するといふ。近所の子供には二三人話をして一緒に遊ぶ友達もあるが、知らない人に対しては極端なはにかみやであるという。この様にだまつて幼稚園ですこしているが、朝出る時は大変うれしそうに幼稚園に出かけて来るのだそうであるが、いつまでたつても受持ちの先生等眼中になく、馴じもうとししないこの子供に対し

て子供のホームグランドで仲良しになろうということは一番最初に考えたことであつた。しかし他の子供達は環境をそれぞれが発達の過程としてそれぞれの必要として、家庭それから幼稚園と同心円にひろげて来ている。この子供だけ家庭と幼稚園の間に先生の方で直線のかけはしをつくらなくても何とかならなうだろうか。その様なことを考え、幸い送りむかえは母がしているのでその間の連絡を密にし、必要のあるたびに家庭での状態を知らせてもらい、幼稚園では行わない外的表現を知ることにした。以下教師と母と共同の記録の中から子供の變化をひろつてみる。

【5月23日】絵具ではじめて絵をかき。誰も教室にいなくなつてから教師が腕の上膊をつかまえているからという約束で。(他の子供は二回目)

【5月27日】登りおりをいやがつて泣いていた石段を、四段だけの所で始めは手をつないで降り頃は一人で登つたりおりたりして笑い声を立てながら遊ぶ。隣の子供の絵をまねてグレパスでかく。食事は口まで運んでたべさせれば一緒に食事をする様になる。
※あれこれと教師の方から友好的な關係をつ

くろうとして毎日だまつている子供に何かと話しかけていたのが此の頃やつと一方だけであるが意思が疎通しはじめて来る。

【5月29日】園庭のたぬき穴を友達と一回だけくぐつた。

『家へ帰ると「ぶくぶく」と「がらがら」を必ず三回づつする。時計を一人で切りとり針をつけてもらつて遊ぶ。どろあそびをしながら汽車の歌をうたう』

※うがいのぶくぶく三回がらがら三回と汽車の歌は幼稚園でならつたことである。幼稚園ではどちらもただみていただけ。

【5月30日(金)】昼食の時今日は箸を自分で持たせ教師が手を持ちそえて食べることにしよう、と約束して始める。途中で、なるとの煮たのに自分から力をいれてつきさしたので、教師が手をはなすと自然に自分で口に入れ、この調子と思つた途端に、さもなくそうな顔をしてにらみ、あとは泣いて食事をせず。午後また絵をかかない。『エプロンのひもがとけたから結んで』と始めて小さい声ではあるが意味をなす話をした。

『一人で食事をしない子は大きい犬になめさせるときびしく母が叱る。月曜日は自分で食

事をし、お絵かきもすると手をつけて約束をする』

【6月2日(月)】二人づつ組んで作つたトンネルを汽車になつてくぐつて遊ぶ。教師にさせられないでしたのははじめてである。身体検査を泣かずにうける。

『カレングーが好きで二日間の休みをカレングーで遊び教も千まで教える。トランプを紙芝居の代りにして七匹の子山羊の紙芝居をする。歌ははじめ小さい声で歌つてみて、すっかりおぼえると大きい声で歌う』

【6月3日(火)】食事をしない。絵もかかない「いや」とはつきり意志表示をする。下駄箱から靴を自分で出そうとしない。

『かえり道、友達が高い所へ登るのをみていて自分もまねる。「この電車は○番ね」と友達に話をする。……幼稚園では口もきかないでいる友達であるが……「○ちゃんが僕に又あしたも遊ぼうねといつた」と母に報告した』
※教師に対してあまえてみる態度が世話をやかせ形に出て来た様である。母は家ではこんなでない、絵をかかないことその他を苦にするが今しばらく書きたくなければそのままにしておくことにする。

【6月4日(水)】友達のまねをして話の最中に外をのぞいてみたりチヨコチヨコ脂をかわつてみたりする。

【1人で家で絵をかいている時に母がほめて幼稚園でかいたら、きつと皆さんがびつくりするでしょうねというところ「あしたカレンダーを日月火もかいて、そしておともだちにも僕書いてあげる」という】

【6月5日(木)】石神井の豊園に遠足、他の子供はほとんど附添いがあったが、この子供は一人で泣かずによく歩いたが食事をしない。

【6月9日(月)】「今までいやがっていた髪を洗うこと耳を掃除することをいやがらずにする様になつた」

※爪と耳と髪をきれいにする様におしえ毎週幼稚園で検査をしている。

【6月10日(火)】友達の名前を言つて呼んで来てもらうことを頼むとその子のそばに行き、小さい声で「ちよつと」といつて連れてくる。昼食はまだ食べさせないとだめだったが終ると、舌を出してまだ食事のすまない子供にひょうきんな顔をしてみせて笑わせる。

【ハンカチ落しの時 落されたけれどしなかつたと報告し「前奏の時はうたわらないのよ」

と先生のまねをする」

※他の子供はせいぜい二人位しか友達の名前をおぼえていないのに、この子供は同年の男子の名前を十数人知つている様である。

【6月11日(水)】じやんけんをして(紙しか出さない)鬼ごっこをする。食事はまだ一人ではない。

【母から「お弁当お友達と一緒に食べるのが恥かしいの」と尋ねられ「恥かしいの」と返事をした。食べさせていたぐくのはもつと恥かしいのよ」に対しては無言でさして恥かしくなさそう。雷様について質問した機会に、

「お空でみておられるから、幼稚園にいつていつまでも一人でお絵かきしないで居ると、今度雷がなつた時おへそをとられてしまうかもしれない」

「明日は先生がごらんにならんうちに一人でいただいてしまふ」という約束が出来る」

【6月16日(月)】11日の約束はまだ今日も果されない。家へ帰ると絵をか、なかつたこと。お弁当を一人で食べなかつたことを報告するという。

【6月20日(金)】参観人のある度に問題になるこの子供を、今少しきつく叱つてみることに

する。朝から今日は「お絵かきしないならおうちへ帰つてもらふ」と何度もうと其の度に声はあまり立てずに一粒の涙を流していた。他の子供達が全部不透水彩でかきあげた頃とうとう「一緒にもつて」と画く意志を示し、尚よく「一人で画かなくてはいけない」といつてから腕をおさえてか、す。二枚一息に自動車と汽車の絵を黒と緑の線でかく。お弁当も同様にこの腕をさ、えてみるとあとは自分で器用に食べた。

※これは別のやはり沈黙の女の子が前にお迎えの人がなかなか来ないので、夕方やつと来て、遠くから名前を呼ばれた時に、うれしくなつて「ハイ」と大きな返事をしてからその子が話をする様になつたことがある。それでこの男の子の場合の沈黙の状態も何かの圧迫感からなら思う存分いやなとき、叱られた時幼稚園で大きな声で泣く事もあるいは良い結果を生みはしないかと考えいけなことはきつく叱ることにした。

【6月23日(月)】朝から一人で、自由画帖に電車と人の絵をかく。友達と一緒に粘土細工をし、花、トンネルをつくる。食事も一人でする。

※休みの後はいつも又元に戻つたなど思われる様にこの子供はかたくなになるが、先週絵をかく様になつたことが、月曜日の今日は更に発展した。あとに残る問題は外遊びや、音楽リズムの仲間に入つてしないことである。

【6月24日(火)】「お絵かきも粘土も上手、何でも上手に出来るでしょう」とほめてはジャングルに登らせ様とする。鉄棒の前まで登りそうに行くが止める。すべり台やブランコにのることをすゝめると「こわいからいや」とそばにもゆかない。外あそびは石段の登りおりを楽しんでいる。

【6月25日(水)】「ジャングルに登るからおさえてね」というので背中の前かけの紐をそつとさわる程度に抑えていると一段だけ登つてはおりて遊ぶ。帰る頃お迎えのお母様がふえてくると又無表情になつて何もしくなつた。

【6月26日(木)】先生方の後からついていき「ワツ」と驚かす事を喜んでしていた。自分で早く食事を終り、まだ終らない子に面白い顔をして笑わせ、入口を出たり入つたりする。※他の子供の場合なら特記することでもないが、この子の場合始めて表れた行動である。

【6月27日(金)】「もうずつとせんからのぼれ

る様になつたの」と言い乍ら久しぶりに見えた園長先生にジャングルに一段登つてみせる【7月1日(月)】音楽のリズムの時は他のことは何もしないが皆と一緒に歩く時は手を高くといえばその様に、元氣よくといえれば又それらしく歩く様になつた。先頭にすると思喜んで元氣にあるく。

【7月7日(日)】おたん生会で数人ずつならんで遊戯をするとき、ただ立つていたが、終つたあとは一仕事した様に満足したニコニコ顔をしている。

以上が一学期間の記録であるが、この中からと又それに加えて日常感じていることを此の子の性質の特徴としてあげると

- ひとりではつておかれても平気である。
- 先頭になつたり、一番早く出来た等は大好からしい。

- ひどい心配性、苦勞性らしい。
- あがりやすくすぐかたくなる。
- 人のすることをよくみている。穴のあいている所、友達をした悪いこと等は特に。
- かたすみで他人のやることを眺めている。
- 何を望み何を感じ何が好きで何が嫌いかわからない。

●強情をはつて、さらつと止められない。短かくいえば内気でおとなしくはにかみやである。(終りの二項の強情をはつてさらつとやめられないというのは少し問題を残す点であるが)そしてこのことはどうも素質的なもの様である。父親の幼い時に面倒をみたという女の人が、此の子の行動を「旦那様の小さい時そつくりだ」ということであるし、改めなければならぬ環境があるわけでもなさそうである。

家へ帰つてからの幼稚園の報告等も正確であるし、文字等もよくおぼえており、知能的にもすぐれている様子であり、内気であるという特性は矯正する必要はないように思う。自分で本当に打込んで進むことの出来る軌道を見出してやること、これに乗せてやる事が教師としてのこの性質に対する指導であろう。然し社会に対する不適応、新しいものに対するしりごみ、これは此の先長い学校といふいろいろの氣質の者と机をならべる生活にこのまゝでは次々問題を生むことであろう。その解決のためにも幼稚園の集団生活においてのこの子供の軌道を、みつげ出してやりた

いと思つている。



アメリカ童話から

21

松原至大

奇術師の兎

あるところに、一匹の小さな兎がいました。兎の中でも、だれにも負けない長い耳、ピクピク動く鼻を持ったそれはそれがわいわい兎でした。この兎は、マーガトロイドという名の奇術師に飼われていました。

マーガトロイドさんは、この兎をかわいがつて、どこへ行くのにも、ポケットの中に入れて連れて行きました。ある日のこと、マーガトロイドさんは、兎を連れて、オーケストラの演奏会に行きました。会場にはいると、一番うしろの席に、そつと腰をおろしました。この奇術師は有名な人で、だれにでも知られていたので、多くの人に顔を見られるのが、いやだつたからであります。

オーケストラの会は、よく時間がのびて、終るのがおそくなることがあります。この日も、なかなかおしまいになりませんでした。ポケットの中にはいつていた兎は、苦しくなつてしまいました。そこでポケットから、そつと首を出して、マーガトロイドさんの顔を見ました。マーガトロイドさんは、いつしようけんめいに、オーケストラに聞きいつています。兎は我慢ができなくなつて、床の上にとび出しました。そしてそつと、通路におりました。だれも、兎に気がつくものはありません。みんないつしようけんめいに、オーケストラを聞いているの

でした。

兎は音のしないように、通路からステージの上にあがりました。ステージにいたオーケストラの人たちも、それに気がつきませんでした。いつしようにけんめいに、音楽を演奏していたからであります。

オーケストラの人たちは、いろいろな音を出していました。兎の長い耳は、じつとしていることができませんでした。どこか音のしないところへ行きたくまりました。

その時、よいあんばいに、テューバ（低い音を出す大きなラツパの楽器）を演奏する人が、休んでいました。兎はテューバが、床の上においてあるのに気がつきました。その中にとびこんで、奥の方へはいこみました。こんなところへはいつてしまえば、たしかにうるさい音楽はきこえませんが。

けれども少ししたつと、テューバの演奏者は、テューバを両手でとりあげました。番がきて、大きな音を出さなければならぬのでした。頬をふくらませて、ぐつと吹きました。でも音が出ません。もう一度頬をふくらませて、力いづばいに吹きました。すると、小さな兎は、その息で、外へ吹きとばされてしまいました。

吹きとばされた兎は、オーケストラを聞いていた、ひとりの男の子の膝の上に落ちました。これはまたなんということでしょう。その男の子は、ふだんから兎がほしくてならなかつたのでした。

「うわつ、お母さん、ぼく、兎をつかんだよ」

こういつて、男の子は、ならんでいたお母さんを、脇でぐつとおしました。

オーケストラが終ると、マーガトロイドさんは、通路をおりて、その男の子のところへ行きました。この奇術師は、今までのことを、なにかも見ていたのでした。

「失礼ですが、それは私の兎で」

と、マーガトロイドさんは、気の毒そりに男の子にいいました。すると男の子はびつくりして、

「あつ、おじさんは、マーガトロイドさんでしょう。あの有名な奇術の大家の」といいました。

「ええ、そうです。」

と、マーガトロイドさんは答えなければなりませんでした。

「では、おじさん、おじさんが、ほんとうにあの有名な奇術師なら、おじさんの帽子の中から、兎をいく匹でも取り出せなければ。」

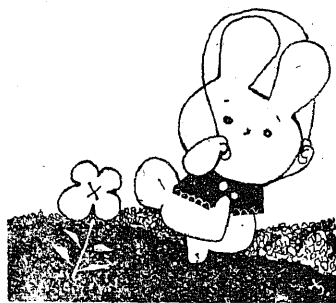
男の子は、兎を両腕でやさしくかかえながら、こういいました。

「なるほど、それはほんとうですね。それができなければ、ねえ。」

と、マーガトロイドさんはいいました。マーガトロイドさんは、この男の子が、どんなに兎をかわいがるかというところ、そしてどんなによい子であるかということを、よく見ぬきました。そしてそのまま大勢の人の中にはいつて、どこかへ行つてしまいました。

そこで男の子は、その兎を連れて、お家へ帰りました。早速小さな家を作つて、それに入れて、人じんをたくさん食べさせました。それから、その兎は、マーガトロイドさんのところにいた時と同じように幸福に、いいえもつともつと幸福に暮したということがあります。(エリザベス・オートン・ジョンズ女史の作による)

(Elizabeth Orton Jones)



二月の幼稚園

二月の保育

幼稚園……堀合文子

保育所……鈴木とく

堀合文子

年少組

年長組

主題

○節分

- ・行事に対する興味を養う
 - ・お話をする
 - ・お面、ます等作り一緒に行事をたのしく過す
- ゆき
- ・雪の日を利用して雪の観察をする

○節分

- ・年少組と大体同じだが製作方面については、なるべく創作を生かして、その節分の行事の取扱い方もお子さん達と相談してやりたい。
- ゆき
- ・雪に対して年少組の時より、環境をととのえて科学的に知

<p>観 察</p>	<p>お 話</p>	
<p>○節分 お面やます等作つたりして、年中行事に対する興味をもたせ話をして、まね事の節分をやつたりして漠然としらせる。</p>	<p>○節分の話 ○めがね ○鬼と鏡 ○人形芝居（花咲爺） ○幻燈</p>	<p>・雪だるま作つたり雪兎つくつたりして雪であそぶ ・雪の歌、リズム遊びをする ・雪にちなむお話を ・雪の日のおえかきをさせる ○ひなまつり ・三月のおひなさまの仕度をはじめ ・春の間じかい事、ひなまつりの事を話合 ・おひなさまを作る ・おひな様の道具を作る ・おひなさまにちなんだリズム遊びをする ・おひなさまの歌をうたう</p>
<p>○節分 年少組と同じ ○雪</p>	<p>○節分の話 ○雪姫 ○たどんやとやかん ○ふしぎな青い布 ○人形芝居 一日お芝居の日として子供達がやるお芝居を他の組のお友達にみせたりするのもおもしろい。 ○幻燈</p>	<p>識をもつていつてやりたい。 ○ひなまつり ・年少組の時と大体同じだがその生活経験の内容を豊富にする。</p>

製繪
作画

寒い冬も明日は春が来るとゆう、立春の事もはなしをしておく。

○雪

雪のふつた日は皆で雪だるま、兎等を作つて、雪と遊びながら雪の観察をする。日光にあたるととけてしまう事も自ら経験させる。

○桜の花

桜の花が咲きだした。保育室の花瓶にさして、香その花の美しき、普通の花と柄のちがう事等しらせる。

○お日さま

この頃は特別にお日さまがこいしい。日向ぼっこしながら話合つてお日様のありがたい事、冬と夏の光の強さのちがいはなす。

○おひなさま

町でもおひなさまを売出しはじめるので登園の途中観察して来たのを話合つて、自分達のつくる事により観察をふかめる。

○おえかき「自由」

○えのぐでおえかき

○節分のお面作り

印刷したものを塗る

○節分のおえかき

○雪の日のおえかき

○節分

年少組と同じ

○雪

年少組と同じ

雪の結晶の様子を絵などで知らせたら簡単にしらせたい。

○梅の花

年少と同じ

○お日様

年少と同じ

○部屋の中の暖房（火鉢・ストーヴ）

部屋をあたためるための火鉢又はストーヴを囲んで家庭での暖房を話し合いながら、冬用いるものとして観察しておく。

○おひなさま

年少と同じ

環境の一つとして昔のおひな様の絵をはつて、今のと比較させても面白い。年長ならおひなさまの飾りつけの手伝いをしてどんなものをかざるのかよく観察させる。

○おえかき「自由」

○えのぐでおえかき（画台をつかつて）

○絵葉書大の紙におえかき

年長組の二月ともなるとおえかきも相当地に自由にかけるようになる。いつも一定の大きさの紙でなく、時には大きな紙、時には小さい紙にかくとゆう事が必要で、今度は葉書大の

○新聞粘土でおひなさま作り

○屏風を作る

○お菓子入れる籠を作る

○おひなさまの壁かけを作る

紙に絵葉書として画をかゝせてみる。又これと類似して



と種々の形の紙にかゝせてみるのも一つの芸術でおもしろいものがみられるでしょう。

○節分のおえかき

○雪の日のおえかき

○新聞粘土でおひなさまづくり

自由に型を一定しないで作らせてみる

○新聞粘土でお供えするお菓子作り

○屏風、橘、桜、箆笥をつくる

○お菓子入れる籠を作る

○おひなさまの壁かけを作る

○千代紙でおひなさま作り

前述のは自由に創作を生かしたおひな様だが千代紙のは美しい事を目的としたもので皆が同じ形の同じ美しさを持つたものも又おひな様独特のよさとして味いたいものです。創作面はみえないが出来上りを主とした点に千代紙のも仲間に入れてやることも好ましいと思う。

音楽 リズム

○大ゆき小ゆき

○雪のリズム遊び

雪のふる表現、雪で遊んで雪だるまや、雪合戦する所を曲に併せてさせる。

○まめまめ

○雪のリズム遊び

○まめまめ

○おしくらまんじゅう

○どなたの細道

健康の習慣

- 二月の身長体重測定
- 咳をする時は手をあてましょう
- 手洗を丁寧いに行きましょう
寒くなると洗うのもぞんざいになるのでもう一度此処で約束する。
- ぬれたまゝで火にあたらないようにしましょう

○とんでとんでとんで

○ねことねずみ

○おひなさま

○小さい音楽会

部屋であそぶ事の多いこの頃では歌の時を音楽会の形でかわりばんに歌つたりして音楽会をやる。

○鑑賞

○簡易な楽器

たゞ楽器を扱うのでなく動作に移して扱つてみたい。
例えば歩くのはハンドカスタを用い、四歩あるいて四つ打のように曲にあつた種々の使用の仕方を考えて入れるとおもしろい。

○おひなさま

○おひなまつりのリズム遊び

皆がおひなさまになつたり、おひな様をかざる人になつたり五人ばやしは簡易楽器用いておはやしのまねをし、他のお人形達に表現させたりして、ひなまつりの有様を曲にあわせて表現させる。

○舌切雀

お部屋であそぶ事の多い此頃に、皆で変りばんに配役をして人にみせるためでなく、自分達がおもしろくあそびたい。

○鑑賞

○簡易楽器

こちらで指導案をもつてやるのでなく、日常二種類位を保育室に用意しておいて、生活の中に折込ましてやりたい。子供達が自発的にやり出した場合その機をとらえて、指導する。

○年少と同じ

習
慣

○お友達と仲よくあそびましょう
○部屋の中ではなるべく静かにあそびましょう

○朝の登園時間におくれないようにしましょう
○お仕事の途中ではなるべくお手洗にゆかないようにし
ましよう
年長組も小学校入学がちかくなるので学校生活への準備のた
め次第に規則にはめてゆくようにする。

二月の保育所

保育所には、進級とか修了とか云う事はない筈だと、さるお役人
が仰言つた事が、全国の保母さん方の心に何か石を投じた様ですが
小学校入学年令が四月一日に基準し、諸々の会計年令が四月一日を
初めとしている等思うと、三月は一応、諸事業の一年の終りと云え
ます。小学校入学の幼児を、多数入所させている保育所は、矢張り
その子を持つている家庭と同じ様に、様々な心の準備もし、共に祝
う気持が自然の事と思います。

三月になつてからでは、もう何かと間に合わなく、日時はたつて
しまいますから、この月は、一人々々の進学期に注意をむけて、そ
の社会生活の態度や、自分の身のまわりの仕末等についてメモ等し
ながら、個別指導に重点をおきたいと思ひます。

◇ ◇ ◇

鈴 木 と く

中組(四、五才児)は、年長組になる誇をもう二月頃から、はつ
きり意識させてもよいでしょう。たゞ、年長組になると云う事を、
色々な禁止の場面や、抑圧の為に使う事のない様に注意したいもの
です。

この年令の組では、もうこの頃に、基本的習慣の殆どが、確立し
てよい筈です。その確立のしかたも、単に出来る、と云う事だけで
なく、速度とか精巧さとか正しくとか、質的に、三才児より高くな
つてゐる筈です。

社会生活をする上に必要な、礼儀や、作法や、規律等が、自然に
そうするものだ、と云う風に身につきはじめていると思ひますし、
又、そうなつていてほしいと思ひます。

どんなに、年長組を多数入所させている保育所でも、いく人かの中組や、年少組がある事と思います。その幼児達が、来るべき新年度から、保育所の生活の軸となることを考えましょう。

遊びの面でも、運動、製作、音楽、見方、き、方、話し方等どんな風にするか、どの程度の事が、どんな工合に出来るか、注意してメモしておきたいと思えます。この事は年長組になつて遊びを計画する時に、大切なものとなり、受持の保母が他の人になるなら、引きつぎの時には、最も大切な事の一つになります。一月に、参考として、保育計画で実施した事のまとめの用紙や個人記録の用紙の形式をかきましたが、あの様なものを資料として、自分の記入しよいものを作りあげて、たつた一つの事についてでもい、ですから、個人の状態をまとめてみる習慣を保母さん自身が、身につけましょう。

こんな考え方で行くと、二月の保育の実際は、どの様になるのかと、一寸、とまどいの形になりますが、思いきつて自由に、と云うと、単元の設定も、何もなしに、幼児の興味の趣くところから、それを拾い上げて、発展継続させると云うやり方をとるか、或は、三月の中頃に、進学児と、保育継続の幼児との、お祝い兼、お別れを惜しむ会の計画をたて、その目的へむかつての遊びの種々な面を構成して行くか、のいづれかと思えます。個々の様子を知るには自由に遊んでいる時の方が、保母にとつては記録しよいと思えますし、又、何を、どの程度に、と云う場合は何か一つのことをきめて一斉にあつめてやらした方がよいでしょう。手先の事とか、運動の

事とか、歌うこと等。

◇ ◇ ◇
年長組には、その他、これ迄描いた自分の絵の整理や、製作の整理、等のお仕事があります。其の都度に、家庭へ持ち帰らせてられる保育所は、こんなお仕事はないでしょうけれど、描いたもの、製作（主として紙細工、それも平面的なもの）等、とつておかれた所では、日付順にそれを整理して行く楽しみがあります。毎日、一寸の時間集つて、一カ月分位づつ、して行つても、一週間以上か、りましょう。これに、保母と幼児の共同による表紙をつけることも、楽しい仕事のつとめしたいものです。一年間の、自分達の生活表現に、美しい表紙がついたら、なお一層うれしい事でしょう。その表紙を、全然保母がしてあげるか、自力でさせるか、又、保母の手も加えて綺麗にし上げるか、其処々々の、幼児の状態や、保育担当者各自の考え方にもよりますが、あくまで幼児の創造性の發露を願いとする所は、幼児自身に表紙の製作もまかせましょう。

先に云いました、思いきつて自由に、と云うやり方は、一人の保母が一組四、五十人も受持つていられる所では、不可能な事と思われれます。二年保育で、三十人位迄でしたら、楽しいグループ展開が出来て、その出来上つたものを、お別れの会等に、そのまゝ、発表したり、利用したり出来ますが、自由な形がい、からと云つて、夫が放任保育になりがちな事をくれぐれも御注意下さい。

豆まきがあり、立春の話があり、最初の週は、その事ですすぎます

が、寒があけても、東京地方等は、その後、度々、雪が降つたりして、遊びの予定や、その日の計画は、雪にさらわれてしまいました。部屋にこもり勝ちの冬の保育を、雪が外に誘い出してくれませんが、雪かきは、他の人の為に親切心を湧きた、せましよう。雪つり、雪だるま、雪玉ころがし、雪合戦等々、雪の少ない地方の雪降り、どんなに幼児のころをゆすぶることでしょう。その日も、その翌日も、設定した、その週の案がメチャクになつてしまつた事を悲しむ保母さんはいないと思います。

氷滑り、スキーの話、そしてそれにちなむ歌、リズム遊びなど、偶発事項は、計画されたものより面白く、スムーズに發展して行く事が多い様ですから、すかさず取り入れて、今迄に持つてゐる幼児の力を、ぐんと出させる様に、機智と、想像力とを保母自身が養つておきたいものです。

泥のついた下駄、足袋、靴下、又はぬれたそれらのものを、平気ではいていないで、自分から乾かす様にしましょう。

もしも、三月のお別れの会の予定が、音楽会形式のものに、劇や人形劇が加わるのでしたら、それを無理なくするには、二月の保育から毎日、何げなく遊びの中で、それがつみ重ねられて行くべきですし、園遊会の様な形式でしたら、売店のもの、遊びのものなど工夫して、二月からそれらの製作にかゝつた方が、保育も幼児も無理なく毎日の生活がたのしめて、最後の目的の日に、時のたつのも忘れてあそべると思ひます。

その他、一月にとり上げましたが、この月も引続いて注意したい事は、自分の名前、住所、父母の名前が、はつきり言える様になつたかどうか、注意しましょう。特別な時間をその為にとらなくても一組の人数の多い所では、必ず、待つ時間と云うのが時々あります。手洗いの服を待つ時間、おかすがくばられるのを待つ時間等、そうした時間を退屈させない様に、この発表練習をさせてもよろしいでしょう。棒よみ式に、口の中で、ズラ〜と云つてしまはない様に、殊に、住所と氏名は、はつきり言える様にしましょう。

それから、呼ばれたら、何時、何処にいても、はつきり返事が出来て、自分の所在を知らせる事が出来る様に、この事は、あまり気にかけていない方が多い様ですが、集団生活の上からも、自己を示す自信の上からも、それが、保育者との愛情のつながりの上からも必要な事の様に思われます。「呼べば応える」と云う動作の上から、感情のつながりや、感覚の呼応の事が、返事のやりとりからも出来る様に思われます。

意志表示で、何を、どうしたいのか、はつきり云う事、この事もなか〜つけがたいことです。これは家庭で、目上の者の態度にもよると思ひますから、半分云つた事や、動作だけの事を大人が察して、希望通りにしてあげるのではなく、はつきり云わせてからしてあげる様にしましょう。学校へ上る途い〜くもない日数で、なか〜こうした事を急に望むのは無理な事なのですが、家庭との連絡をしっかりとつて、なるべくよくなるように努力しましょう。

◇ ◇ ◇

以上年長組の二月の生活を思ひつくま〜にのべましたが、この保

育のあい間に、色々な、調査や、検査をするとすると、保母は、余程計画を密にしないと、すぐ三月の年度末を迎えて、あわてる様な事になります。

小学校へ入学してしまふ幼児は、大体の様子が小学校に連絡されれば、様な、現在の学校との関連状態ですから、それでい、と思いますが、来年度の保育の計画を立て、それが、よりよく展開されるためには、現在の年中組や、年少組の、一年間の歩み方と、現在の成長の状態が、大事な資料となるのですから発達状況を知るために、便利のい、様な、保育計画をたてる方がよいと思います。先に云いました、年長組の計画に、中組も参加させるとしても、そのやり方で、観察の態度や、話し方、き、方、言葉の種類、音楽では、歌い得る可能な音程、リズム、等その他、保育案の各々の経験内容について、個別的観察の目をむけよ様な保育が出来ると思いません。それがそのまゝ、売店の売り物と飾られ、ステージの上で、無理を感じられずに、綺麗に歌うことや、動きのリズムとして発表も出来ましょう。が、その訓練なり経験の、期間、方法、種類は、保母のノートに記されてあるべきです。

季節の感覚としては、どの本にも、種々な事例がのつておりましようが、二月は雪、梅うぐいす、等と云つても、北の果と、南の果の保育所では、一カ月も季節感のずれがあります。地方々々の冬の感覚のものと、春を待ちはらんでいる植物の芽生えや、生長を、遊びの間にみのがす事が無い様につけましよう。

ものものしまつ、共同のものもの扱い方や、整頓のし方を、年中組の

終りにしつかりとさせておかないと、年長組になつてからでは、なかく、そうするもの、と云う習慣がつきにくくなります。大体の生活技術を身につけたこの組の、これからの目的は、生活の美化とより楽しい文化的要素を経験する事に容易となる事を、私の経験からくれぐれも申し上げます。自分でする力、自分で考えるくせ、何とか下手なりに工夫する努力の基礎は、この年令で基礎かためをしておいてあげた方がよい様です。

冬の重苦しい期間も、この月の末には、何か春への明るい希望がもてましようが、この間、生活指導に重点をおけばよいと云うので殺風景な保育所を現出してもよいのではありません。家庭に代るこの住居が、その辺の洋品店や、博らん会の様に、常に、賑々しく飾りたてられなくても、日常の生活に使う、玩具棚、入れ物、置場、その他の日用品が、心使いの細かさで、配色を考えたり、小布等を利用して、常に、美しいと感ずる環境の中に任まわせたいたいのです。

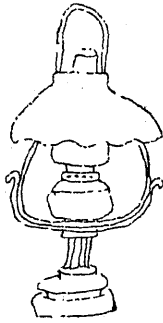
年令が小さい程、これはおろそかに考えるべきことではないと思ひます。

も一つ、冬の保育で、保母の心づかひをして頂きたいものは、燧房のことです。これは、経営者や、父兄とも相談して、何とか、火鉢にかじりつき、或は炬燵にもぐりこむ。不健康な生活の習慣がつかない様に工夫したいと思ひます。部屋がポーツと温かければ、火のまわりをうろつく幼児は少いですし、火による怪我も少くなります。

す。幼児の活動の工合、生活のプログラムの上での案配を考えて、必要度の濃淡を計画しましょう。寒い日の、部屋での時は、惜しみなく、ぬくくと、日光のおかけでしのげる時は、その様に。この事は、なか／＼若い保母さんには、気のまわりかねる事と思います。が、吾が国の独立途上の困難な経済生活の上でも、幼児には計画して健康的な、潑刺とした生活を設定してあげなければと思ひます。

寒さにかまけて、体重測定日を忘れない様に。

この月の終り頃には、九月以降六カ月の体重や身長を表を、各自の家庭に連絡して、身体的発育の様子を知つて頂く様にしたいと思ひます。



出来れば、保護者会をひらいて、保育中に記録した事などを基に話し合いをする機会をつくりたいと思ひます。天候や、寒さで、家庭の方達は、なか／＼出席しないでしようが、人数が少ければ、それだけ、くわしく一人一人についてお話が出来るから、いゝのではないかと思ひます。母の会の出席率が、いゝのに越した事はありませんが、どの様に、保育所のあり方を理解してもらえたかは、出席数だけではいえないと思ひます。忙しいお母さん達ですから、こちらで聞く回数を多くしてあげなければ、一年中に、保育所の保母と親しく話す機会も、それだけ少くなるのではないかと思ひます。雪の夜等は、火を囲んで、しみ／＼と子供たちの事について、語り合をしたら、お母さんとの理解度も深まる事と思ひます。

理にこだわれば角が立つ。機嫌ばかりとれば、流される。(漱石の「草枕」の名句をヘタにもじる)兎角にキンダーブックの編集はむづかしい。

『からすが一わいしのうえにいた。とんでいつたらいなくなつた。』

これは、キンダーブックのマザーグース号の中の一句だが、ある先生から、問合せがあつた。あれは一体何んの意味があるのかと、わたしは、がっかりして、あいた口がふさがらなかつた。

そこへ、あるお母さんから、手紙があつた。宅の四歳になる坊やが、あの文句を、毎日繰りかえしては、喜んでいますと。わたしはやつと口がふさがつたから、口がふさがつた。

そうしているうちに、わたしのうちの三歳児カ月の孫も、同じくあの句を独りで口ずさんでいるのだつた。これで、わたしはあのマザーグースのナンセンスユーモア

を幼児に与えて見たことに満足した。

われ／＼日本人の文化年齢を十二歳だとかいつた異国人の言も、至極ユーモラスだが、幼児の文化年齢を、早くからおとな並みにしようとするのは、わが国の悪い癖

だ。小むづかしい理詰か、そうでなければあくどいわるふざけが多くて、ナンセンスユーモアに欠けている。それは幼児の

ナンセンス

ユーモア

倉橋 生

生活にとつてラクなことではない。子供ばかりではない。おとなにとつても、こつてりし過ぎる。

『からすが一わいしのうえにいた。とんでいつても、まだいた』
とでも言つたら、意味深長かな。

☆ ☆ ☆

保育應答研究会

倉橋先生を中心に、毎回御熱心な多数の方々の御参加により、終始活潑な討論と、和やかな雰囲気、盛會を得て居ります。

一月／＼四月迄は、種々の都合上、勝手乍ら、休会させていただきます。

フレイベル館内

保育應答研究会係

幼児の教育 第三卷 第二号

定 價 金 五 十 円

昭和二十八年二月二十日発行

東京都中野区千光前町一〇

編集兼 倉 橋 惣 三

発行者 倉 橋 惣 三

東京都文京区大塚町三十五

お茶の水女子大学附属幼稚園内

日本幼稚園協会

発行所

東京都板橋区志村町五番地

印刷所

凸版印刷株式会社

発売所

東京都千代田区神田小川町二ノ五

株式会社

フレイベル館

振替口座

東京一九六四〇番

本誌御購読について注文申込その他はすべて發賣所フレイベル館願います

増子とし先生編著

保育のための音楽カリキュラム(上・下巻)

B5上製 一巻(二四頁) 二巻(四四頁) 定価 各四〇〇円

従来、歌とおどりとが、別々のものとして取扱われる傾きがありました。本書は両者の密接不離のつながりに重きをおいて、有機的立体的結合を主眼として、カリキュラムを組んでいます。すなわち、一つの教材において運動のリズム、音楽のリズムその他を多角的に取扱っている点に本書の特色があります。

賀来琢磨先生編著

実用保育遊戯動きのリズム (第二集)

B5上製 七頁 定価 二〇〇円

先に発行して大変皆様方の御好評をいただきました賀来先生の実用保育遊戯の第二集です。賀来先生はおなじみの通りキンドラーブックで振付を担当されている斯界の権威です。

東京学芸大学附属幼稚園教諭 安藤寿美江
東京学芸大学附属小学校教諭 渡辺茂先生共著

リズムカル表現あそび

B5上製 二六頁 定価 三三〇円

学芸大学附属において直接保育に当たられている両先生が、お話し、劇あそび、こつこあそび、音楽リズムを綜合一体として御考案なさつたものです。一ヶ月に一ツづつ一年十二ヶ月分すべて学芸大学で実際保育に用いて大きな成果を納めた定評のあるもので御座います。

株式会社 フレーベル館

発行所

東京都千代田区神田小川町2ノ5

全国モデル幼稚園協議会編

第一回モデル幼稚園協議會

研究資料

A5判 一二〇頁

さきに名古屋市において行われた、全国モデル幼稚園協議会の研究資料は幼稚園の施設を改善整備するために非常に参考となり、各方面から頒布方の希望がありますので左によつて実費で頒布することになりました。

全国モデル幼稚園協議會事務局

頒布額 二〇〇円 下24円

申込先 東京都千代田区神田小川町二丁目五

株式会社 フレーベル館

3 月 号 予 告

観
察

キンダーブック

繪
本

KINDER-BOOK

第 7 集

【春になる】

第 12 編



☆お子さま方の感情と知識の
成育のために古く広く好評の高い本☆

解 説 付
A 4 判・16 頁・月一回発行
定価 45 円・送料 8 円

「春になる」

春が来初めました。

土のなかから動いて伸
びあがろうとしているも
のは植物だけではありません。
せん。いのち、あるもの
が、みんなみんな甦えた
つ喜びに、永い冬以来
の、暗くおもたかつたも
のを、むくむく、自らの
いのちの力で押し展こう
としています。まだ幼い
けれど、圧えても伸びよ
うとする力。

幼稚園保育所への卒業
入園の時期にとつて好適
のテーマです。

発行所

東京都千代田区神田
小川町二丁目五番地

株式
会社

フ レ ー ベ ル 館

振替口座東京
一九六四〇番